はじめに

この度は SVR-430 をお買い上げいただきありがとうございました。

本取扱説明書の中で、頻繁にユニットという用語を使用していますが、これは DVR 本体の意味です。ユニットをご使用前に本取扱説明書を注意深く読んで、将来のために大切に保存してください。

保証と権利放棄

製造業者は本ユニットの販売に関して如何なる責任も取るものでなく、第三者に如何なることでも製造業者を代表することを是認するものではありません。保証は如何なる事故、過失あるいは誤使用に起因するユニットあるいは部品の故障にも適用されません。また、保証は製造業者が供給しない付属品あるいは部品は含みません。保証は購入期日から１年間有効です。しかしながら、保証期間中でも下記のような故障は保証の対象にはなりません。下記の故障に対する修理には、適切な費用が必要です。

- お客様の不注意に起因する故障。
- 許可なく、ユニットの部品を分解したり、交換した場合。
- 仕様に規定した以外の電源電圧を使用した場合。
- 自然災害（火災、洪水、地震等）に起因する故障。
- 消耗品を交換した場合。

本文に規定した保証は出荷したユニットに限ります。顧客は１年の保証期間が過ぎた後、検査及び修理費用を負担します。１年の保証期間内でも保証条件以外の検査及び修理費用は負担願います。保証以外のサービスについては、販売店にご相談ください。設置、修理あるいは HDD の交換に関しては、販売店にご相談ください。認定された専門業者以外の作業は保証条件に含まれません。

警告マーク

本取扱説明書内のユーザーへの警告には重要性に異なるレベルがあります。これらのマークは、危険のレベル及び可能性により分類されています。本ユニットを使用する前に、このマークの意味を完全に理解していただくことを強く希望します。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

注 ユニットを操作する場合に有用な助言または情報の提供です。

目次

1 安全へのご注意 6

2 概要 8

2.1 特長 8

2.2 機器構成品 10

2.3 各部の名称と機能 11

2.3.1 前面コントロールパネル 11

2.3.2 背面パネル端子 13

2.3.3 リモートコントローラー 14

2.4 ユニット仕様 15

3 設置方法 19

3.1 各部の接続法 19

3.2 接続の詳細 20

3.2.1 リムーバブル HDD ラックの設置方法 20

3.2.2 ラックマウント 20

3.2.3 電源 21

3.2.4 カメラ 21

3.2.5 録音 22

3.2.6 モニター 23

3.2.7 外部コネクター 23

4 設定方法 28

4.1 メニューの仕様 28

4.2 初期設定 30

4.3 ジョグ/シャトルの使用法 33

4.4 メニュー画面設定 34

4.5 画面設定 35

4.5.1 CH1∼CH4 35

4.5.2 シーケンス切換え 37

4.5.3 状態 37

4.6 録画設定 38

4.6.1 リピート 39

4.6.2 現在 40

4.6.3 通常録画 41

4.6.4 スケジュール 42
4.6.5 イベント 45
4.7 イベント設定 46
4.7.1 チェック 46
4.7.2 MD 47
4.7.3 センサー 49
4.7.4 リレー 49
4.7.5 表示 50
4.8 PTZ 設定 51
4.9 通信 52
4.9.1 ネットワーク 53
4.9.2 RS--232（予備端子） 54
4.9.3 RS--422/485 54
4.10 システム設定 56
4.10.1 HDD 56
4.10.2 パスワード 57
4.10.3 日時設定 59
4.10.4 その他（ETC） 60
4.11 メニュー終了 62

5 操作 **63**

5.1 操作開始前の予備チェック 63
5.2 電源接続 63
5.3 ライブ映像画面 63
5.3.1 個々の１画面と４分割画面表示 64
5.3.2 オートシーケンス映像表示 64
5.4 録画 65
5.4.1 通常録画 65
5.4.2 スケジュール録画 65
5.5 録画映像サーチ 66
5.5.1 録画時間サーチ 66
5.5.2 イベントサーチ 67
5.5.3 ログファイルサーチ 68
5.6 再生 68
5.6.1 ジョグダイアル/シャトルリング 68
5.7 ライブ/再生画面切換え 69
5.8 デジタルズーム 70

5.9 コピー 70
5.10 PTZ 71
5.10.1 PTZ 調整 71
5.10.2 プリセット 72
5.10.3 プリセットの利用 72
5.11 クイック設定 73
5.12 PIP 73
5.13 システム情報 74
5.14 アラームリセット 74

6 ネッワークビューアプログラム 75
6.1 ネッワークビューアプログラム（Network Viewer Program）のインストール 75
6.1.1 システム要求仕様 75
6.1.2 ネッワーク環境 75
6.1.3 プログラムのインストール 76
6.2 Select：ユニットへのアクセス 76
6.3 Arrange:画像配列 77
6.4 コントロールパネル 78
6.4.1 Search Control 79
6.4.2 Channel Control 81
6.4.3 Pan/Tilt 制御 82

7 SVR-430 CD-Backup VIEWER 83
7.1 CD-Backup Viewer プログラムのインストール 83
7.1.1 システム仕様 83
7.1.2 プログラムスタート 83
7.2 アイコンの機能 84
7.3 再生 84
7.4 セーブ 86

8 トラブルシューティング 87

第 1 章

安全へのご注意

⚠ 警告

- 設置前
  - 電源ケーブルを接続する前に、ユニット背面で供給電源電圧が仕様を満足しているか確認してください。（AC100V/AC230V）
  - 設置前に電源ケーブルを抜きます。
  - ユニットを湿った環境に設置しないでください。電気衝撃あるいは火災の原因になります。
  - 電気衝撃を避けるためユニットを接地してください。
- 操作中
  - ユニットのカバーを動作中に開けないでください。電気衝撃の原因になります。
  - 仕様に規定された環境温度及び湿度内で使用してください。
  - 一つのコンセントに複数の電源ケーブルを接続しないでください。火災の原因になります。
  - ユニットの上に重い物体あるいは水や液体の容器を置かないでください。ユニットの故障の原因になります。
  - プロパンやガソリンのような燃焼し易いガスや爆発性塵埃の近くで使用しないでください。爆発あるいは火災の原因になります。
  - 濡れ手で電源プラグを触らないでください。電気衝撃の原因になります。
  - 筐体の隙間に手を挿入しないでください。人身傷害の原因になります。
  - 冷却ファンの換気口に帯電物質を吸収させないでください。
  - 電源コードを強く引っ張らないでください。コードが損傷すると電気衝撃や火災の原因になります。
  - 内蔵リチューム電池を他種の電池と交換することは、爆発の危険があります。電池は同種及び同種類の電池と交換しなければなりません。さらに使用済みの電池は注意深く処理してください。環境汚染の危険があります。
  - 乾電池を火の中に投げるとか分解、落としたりしないでください。
  - また、リモートコントローラーに使用する乾電池は充電して使用しないでください。
- 分解とクリーニング
  - 技術者の支援なくしてユニットを分解、修理あるいは改造しないでください。故障、電気衝撃及び人身傷害の原因になります。
  - ユニットの表面をクリーニングするため、水、シンナーあるいは有機剤を使用しないでください。故障、あるいは電気衝撃の原因になります。表面のクリーニングには乾燥した布を使用してください。

⚠ 注意

- 設置中
  - ユニットの換気を妨げないように、ファンの排気口から少なくとも 15cm 壁面、 あるいは表面から離して設置してください。
  - ユニットは安定した平面上に設置してください。不安定な面に設置すると、故障あるいは人身事故の原因になります。
  - 太陽の直接光や熱源を避けて設置してください。故障の原因になります。
  - DVR の録画中にカメラを設置すると、他のチャンネルの映像が乱れます。カメラの設置が終わってから録画することを推奨します。
- 作動中
  - 作動中に衝撃や振動を加えないでください。
  - 作動中に動かさせないでください。
  - ユニットに強い力を加えたり、投げないでください。
  - SAMSUNG/Maxtor HDD(5400RPM/EIDE Type) の使用を推薦します。異なる HDD を使用すると、システムの誤動作の原因になります。したがって、HDD を使用する場合は、販売店にご相談ください。認定されていない HDD の使用は保証されません。

第 2 章

概要

サムスン SVR-430 は小規模店、コンビ、銀行、ATM 等のセキュリティ機器として使用されることを目的として、設計製造されています。システム性能及び安定性に優れるスタンドアローンタイプです。SVR-430 はビデオ映像を、ビデオテープを使用しない HDD に録画します。そのため、繰り返し録画しても、高画質を保持し、デジタル形式でビデオデータを録画及び再生する場合、データサーチを容易にできます。さらに、SVR-430 は高画質な動画録画及び大容量録画ができるユーザーが容易に操作できるデジタル機器で、多くの機能、モーション検出、PTZ 制御、パスワード設定、リアルタイム音声データ録音、1000 件までのイベントリスト及びログファイル記録があります。SVR-430 は録画/再生/バックアップ（CD-RW を除く）機能を同時に実施できます。

2.1 特長

モニター画面

SVR-430 は各チャンネル高画質のリアルタイムライブ映像を表示でき、幅広いモニター画面を提供します。

- リアルタイム・フル画面及び分割画面モード。
- オートシーケンスモード（AUTO）。
- 再生画面からライブモニター画面への容易な切換え（LIVE/PB）。
- パン、チルト、デジタルズーム、PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）。

録画

SVR-430 の録画フレームレートは最大 120F/秒で、イベント発生の５秒前まで録画できるプリイベント録画機能があり、イベントリスト上にイベントを記録できます。

- ４機能同時実行：録画、再生、バックアップ及びネットワーク。
- チャンネル毎の録画解像度の容易な設定。
- 映像画質設定は３レベル。
- 容易なモーション検出設定。
- 120F/秒までの録画フレームレート設定（320×240 基本）。
- 手動または条件付き録画。
- 外部アラーム及びモーション検出信号によるイベント録画。
- ビデオロス検出。
- 外部アラーム及びモーション検出のためのイベントリスト作成。
- プリ（アラーム）イベント録画は５秒前から。

再生

デジタルジョグ/シャトルを用いた高速サーチ及び再生。

- 時刻、日及びチャンネルによる再生。
- 静止画サーチ。
- リモートコントロール及びジョグ/シャトルを用いた便利なサーチ。
- 再生画面におけるデジタルズーム。

録画媒体

内蔵 HDD が基本的なメモリーで、ユーザーはオプションとしてリムーバブル HDD、CD-RW または USB メモリーに映像をセーブできます。

- 標準録画媒体：内蔵 HDD(容量：120GB が標準出荷条件です)
- バックアップの種類：リムーバブル HDD、CD-RW、USB メモリー。

ネットワーク

サムスン SVR-430 は、LAN 及び xDSL 等の広い範囲で、ネットワークをサポートします。ユーザーは遠隔地から PC ビューアーを用いて DVR の主な機能を容易に操作及び管理できます。

- 遠隔地からライブ映像を見ることができます。（フルまたは 4 分割画面）。
- 遠隔地から時刻あるいはイベントによるサーチ及び再生。
- 10Mbps Ethernet/xDSL サポート。

その他

- USB メモリーを用いた簡単ファームウエァ更新。
- リアルタイムで 4 チャンネルまでの音声録音（選択可能）。
- 一台のリモートコントロールで 16 台の DVR を便利に制御。
- VGA 出力サポート
- 言語 (選択可能)

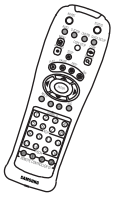
2.2 機器構成品

サムスン SVR-430 は下記に示すように本体と付属品から構成されます。ご購入後、下記品目が含まれているか、ご確認ください。もし欠品が認められたら販売店へご連絡ください。

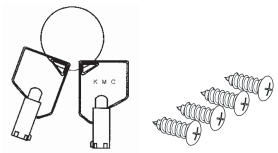
SVR-430本体

1. ネッワークビューアープログラム

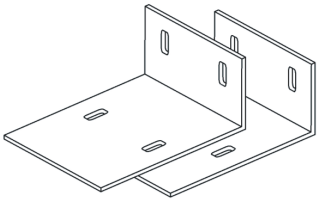
2. 取扱説明書



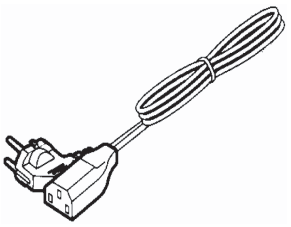
3. リモートコントローラー



4. リムーバブルHDDラックキー及びネジ



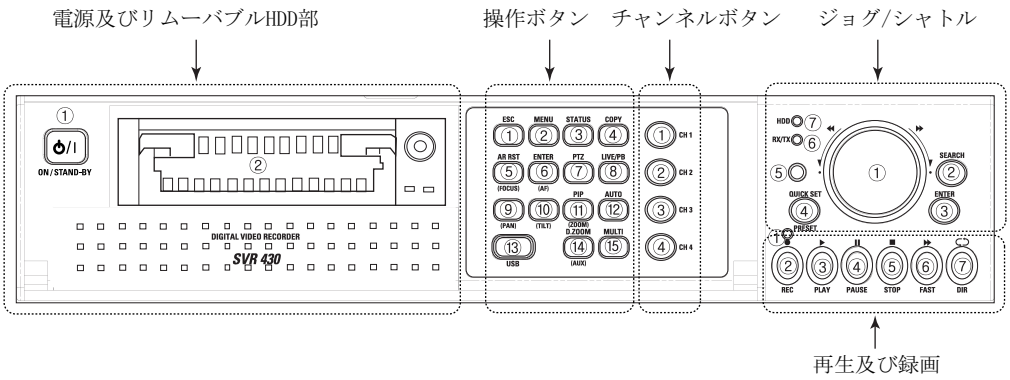
5. ラック取付け用金具



6. 電源ケーブル

2.3 各部の名称と機能

2.3.1 前面コントロールパネル



電源及びリムーバブル **HDD** 部

ボタン名	機能
① 電源ボタン	電源 On/Off
② リムーバブル HDD ラック/ CD–RW	リムーバブル HDD ラックあるいはバックアップ用の CD-RW を装填

操作ボタン

ボタン名	機能
① ESC	前のメニューに戻る。
② MENU — ▲	メニュー設定、カーソルを上方に移動及びイベントリストで、頁機能あり。
③ STATUS	システムの設定状態表示。
④ COPY	コピーメニュー表示。現在のデータを R-HDD または CR-RW にセーブする。USB 経由でメモリースティックにポーズ画像をセーブする。
⑤ AR.RST — ◄ — (FOCUS)	PTZ カメラのフォーカス調整、アラームのリセット及びカーソルを移動し左, 右頁に移動。
⑥ ENTER — (AF)	PTZ モードでオートフォーカス及び数値選択に用いる。
⑦ PTZ — ►	PTZ モード選択、カーソルを右に移動及び頁移動。
⑧ LIVE/PB	ライブ画面から再生画面への切換え。
⑨ ▼ — (PAN)	PTZ モードでパン調整と数値減少。
⑩ ▼ — (TILT)	カーソルを下方に移動し、PTZ モードでチルト調整及びイベントリストで、頁機能あり。
⑪ PIP — ▲ — (ZOOM)	PIP 機能の選択、数値増加及び PTZ モードでズーム調整
⑫ AUTO	オートシーケンス切換えの開始と中止
⑬ USB	USB メモリーに接続するポート
⑭ D.ZOOM — (AUX)	デジタルズーム機能に使用
⑮ MULTI	４分割画面表示に使用

チャンネルボタン

ボタン名	機能
① CH1	CH1 のフル画面表示
② CH2	CH2 のフル画面表示
③ CH3	CH3 のフル画面表示
④ CH4	CH4 のフル画面表示

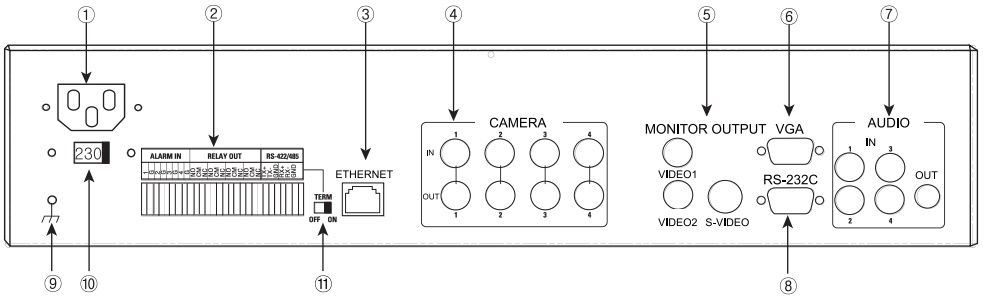
ジョグ/シャトル

ボタン名	機能
① シャトルリング/ ジョグダイアル	ポーズ状態で、静止画サーチまたはメニューの数値設定及び再生の方向と速度の増減
② SEARCH	データサーチモードの選択
③ ENTER	選択のセーブ及び実行
④ QUICK SET — PRESET	QUICK SET — PTZ モードでプリセット選択及びクイック設定
⑤ Remote Control Sensor	リモコン受信部
⑥ RX/TX LED	ネットワーク接続表示
⑦ HDD LED	HDD 作動中の表示

再生及び録画

ボタン名	機能
① REC LED	録画中表示
② REC(●)	手動録画モードの開始と停止
③ PLAY(▶)	再生開始
④ PAUSE(▮▮)	再生ポーズ
⑤ STOP(■)	再生モードの停止、ライブ画面モードに戻る
⑥ FAST(▶▶)	通常速度より速く再生 (2×, 4×, 8×, MAX)
⑦ DIR(⮌⮎)	再生方向変更

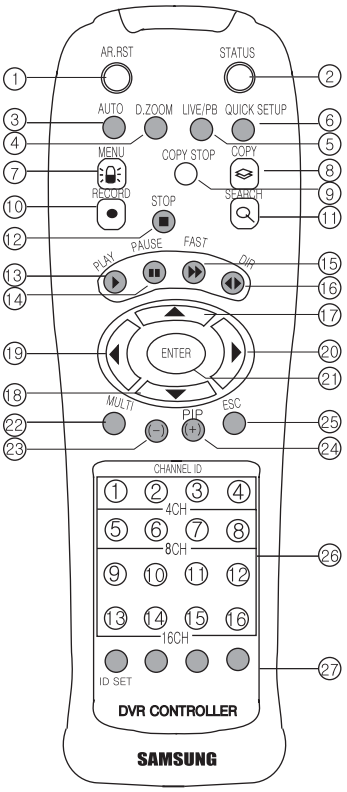
2.3.2 背面パネル端子



番号	入/出力端子名	機能
①	POWER IN	AC100V/AC230V 電源コード入力ソケット
②	ALARM IN	外部センサー入力
	RELAY OUT	リレー出力
	RS–422/485	RS-422/485 端子
③	ETHERNET	LAN 接続端子
④	CAMERA IN	カメラ映像入力 BNC(４) 端子
	CAMERA OUT	カメラ映像ループスルー出力 BNC(４) 端子
⑤	VIDEO 1	外部機器への映像出力 BNC 端子
	VIDEO 2	外部機器への映像出力 BNC 端子
	S–VIDEO	外部機器への S-ビデオ映像出力端子.
⑥	VGA	VGA モニター出力端子
⑦	AUDIO IN	音声入力端子
	AUDIO OUT	音声出力端子
⑧	RS–232C	RS-232C 接続端子
⑨	GROUND	DVR 本体及び外部機器の接地端子
⑩	Power Changeover Switch	AC100V と AC230V の電圧切換えスイッチ
⑪	TERM	RS-422/485 終端スイッチ

⚠ 注　設置方法は3章及び設置と操作の詳細は5章を参照ください

2.3.3　リモートコントローラー



ボタン名	機能
① AR.RST	アラーム時のリセット
② STATUS	システム設定状態表示
③ AUTO	オートシーケンス表示開始
④ D.ZOOM	デジタルズーム起動
⑤ LIVE/PB	ライブと再生画面切換え
⑥ QUICK SETUP	クイック設定
⑦ MENU	設定メニュー表示
⑧ COPY	コピーメニューの表示及びUSBで静止画をセーブ
⑨ COPY STOP	ｺﾋﾟｰ機能停止
⑩ RECORD （ ● ）	通常録画の開始と停止
⑪ SEARCH	サーチメニューの表示
⑫ STOP （ ■ ）	再生モード停止
⑬ PLAY （ ▶ ）	再生
⑭ PAUSE （ ▮▮ ）	ポーズ
⑮ FAST （ ▶▶ ）	早送り
⑯ DIR （ ◀▶ ）	再生方向切換え（正または逆方向）
⑰ （ ▲ ）	設定メニューでカーソルを上方に移動
⑱ （ ▼ ）	設定メニューでカーソルを下方に移動
⑲ （ ◀ ）	設定メニューでカーソルを左方に移動
⑳ （ ▶ ）	設定メニューでカーソルを右方に移動
㉑ ENTER	選択及び設定値確定
㉒ MULTI	分割画面選択（モニター画面）
㉓ （ － ）	設定値減少及び下げる
㉔ PIP / （ ＋ ）	ﾋﾟｸﾁｬｰ・ｲﾝ・ﾋﾟｸﾁｬｰ、設定値増加及び上げる。
㉕ ESC	メニューを終了する。
㉖ ﾁｬﾝﾈﾙﾎﾞﾀﾝ	カメラチャンネル選択
㉗ ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾗｰID	ﾘﾓﾄｺﾝﾄﾛｰﾗｰID選択
	（4.10.4 ﾘﾓｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾗｰのID設定法 を参照）

2.4　ユニット仕様

■ システム

項目	仕様
プロセッサー	32ビット RISC
オペレーティングシステム	埋め込み Linux
圧縮手法	MPEG–2

■ 映像

項目	仕様
映像入力数	CH×BNC
映像入力信号	VBS: 1.0 Vp–p
ライブ映像表示フレームレート	NTSC: 最大120F/秒 PAL: 最大100F/秒
	NTSC: 720（H） × 480（V）（前画面画素数） PAL：720（H） × 576（V） （前画面画素数） 輝度：８ビット（256濃淡諧調） カラー：24ビット（16万色）
モニター出力	VBS：1.0Vp-p、75 Ω Y/C（S-ビデオ） カメラ映像入力のループスルー（BNC）出力
VGA	RGB出力（プログレッシブ走査）
PIP画面	PIP画面画素数：160×120 PIP画面配置：フルライブ画面中に表示

■ 音声

項目	仕様
音声入力	４チャンネル音声
マイク入力 ライン入力レベル ライン出力レベル 録音方式	10mV / 600Ω 1.0V / 20kΩ 1.0V / 1kΩ PCM方式

■ アラーム

項目	仕様
入力 出力	4チャンネル ４チャンネルリレー出力（ビデオロス、電源OFF、モーション検出、アラーム）ユーザー指定

■ リモートコントロール

項目	仕様
赤外LED検知範囲	５m以内

録画

項目	仕様
解像度対最大 F/秒	NTSC(640×480): 30 F/秒 NTSC(640×240): 60 F/秒 NTSC(320×240): 120 F/秒 PAL(640×576): 25 F/秒 PAL(640×288): 50 F/秒 PAL(320×288): 100 F/秒
録画モード	３種類：通常、スケジュール、イベント
イベント発生前の録画	各チャンネル当り 5 秒以内 （1 枚/1 秒/チャンネル録画条件：イベント録画モード）
録画方式	PCM 方式

HDD

項目	仕様
内蔵最大数	２台（リムーバブル HDD を含む）
標準装備	1(120GB)
HDD タイプ	EIDE(ULTRA DMA)
最小レート	5400rpm
推薦ユニット	DiamondMax Plus 9 Series of Maxtor

⚠ 注 Maxtor/下記の Maxtor/Samsung Electronics の HDD シリーズを推薦します。

	モデル	**HDD** 容量	バッファー
Maxtor	4R080L0	80GB	2MB
	4R120L0	120GB	2MB
	4R160L0	160GB	2MB
	5A250J0	250GB	2MB
SAMSUNG	SV1203N	120GB	2MB

オプション

項目	仕様
デジタルバックアップ	リムーバブル HDD、USB メモリー、CD-RW

サーチ及び再生

項目	仕様
サーチモード	時刻： 年、月、日、時、分、秒 チャンネル： 各チャンネル HDD： 固定１、２または R-HDD イベント： アラーム、モーション検出、ビデオロス
ログファイル	電源 On/Off、録画開始/終了、情報表示
再生の速度と方向	正方向及び逆方向
早送りサーチ	高速正方向 (×2, ×4, ×8, Max), 高速逆方向 (×2, ×4, ×8, MAX)
ポーズ及びフレーム再生	再生のポーズ、ポーズ状態でフレーム再生

パスワード

項目	仕様
２ステージパスワード	８桁パスワード（４桁以上） ユーザー： 全ての操作可能 Administrator： 設定機能を除く全ての操作可能

ネットワーク

項目	仕様
一般	ライブ画面： モニター 再生画面： サーチ メニュー設定： 可能 アクセス方式： 専用ユーザー プロトコル： TCP/IP, DHCP, PPPoE インターフェース： Ethernet(10Mbps), xDSL 同時使用： ４ユーザーまで
PC 仕様	CPU： Pentium IV 1.2GHz または以上 (2.0GHz または、それ以上を推薦) メモリー： 256MB または、それ以上（512MB または以上を推薦) HDD： 最低 10GB または以上 OS: Windows 2000 または、それ以上推薦 モニター： 1,024×768 画素 LAN インターフェース: 10/100 Base–T (RJ–45)

電気部仕様

項目	仕様
電源	AC100V(AC90V ～ AC130V) または AC230V(AC180V ～ AC260V) 選択
消費電力	60W(HDD を２台使用時) HDD を２台使用時は 65W

環境仕様

項目	仕様
動作周囲温度	5℃ ～ 40℃
保存周囲温度	–10℃ ～ 60℃
動作周囲湿度	30 ～ 90

筐体仕様

項目	仕様
材質	スチールケース
外形寸法	420(W) × 422(D) × 88(H) mm
質量	約 6kg

接続端子

項目	仕様
映像入力	BNC(4)
ループスルー出力	BNC(4)
モニター出力	BNC(2) S–Video
VGA 出力（PC モニター）	15-ﾋﾟﾝ DSUB
音声ジャック	RCA 入力 (4), RCA 出力 (1)
USB ポート	USB1.1（ファームウェア更新/コピー）
９ﾋﾟﾝ D-Sub	RS–232C（予備端子）
６ﾋﾟﾝ端子	RS–422/485（外部制御、PTZ）
８ﾋﾟﾝ端子	アラーム入力端子
12 ﾋﾟﾝ端子	アラーム出力端子（ビデオロス、電源、モーション検出、アラーム：コモン、NO/NC）
終端スイッチ（TERM）	RS–422/485 終端抵抗スイッチ
LAN 入力	RJ–45（ネットワーク、ファームウェア更新）
電源電圧切換えスイッチ	AC100V、AC230V 電圧切換え
AC 入力端子	AC 電源入力端子
接地	接地端子

付属品

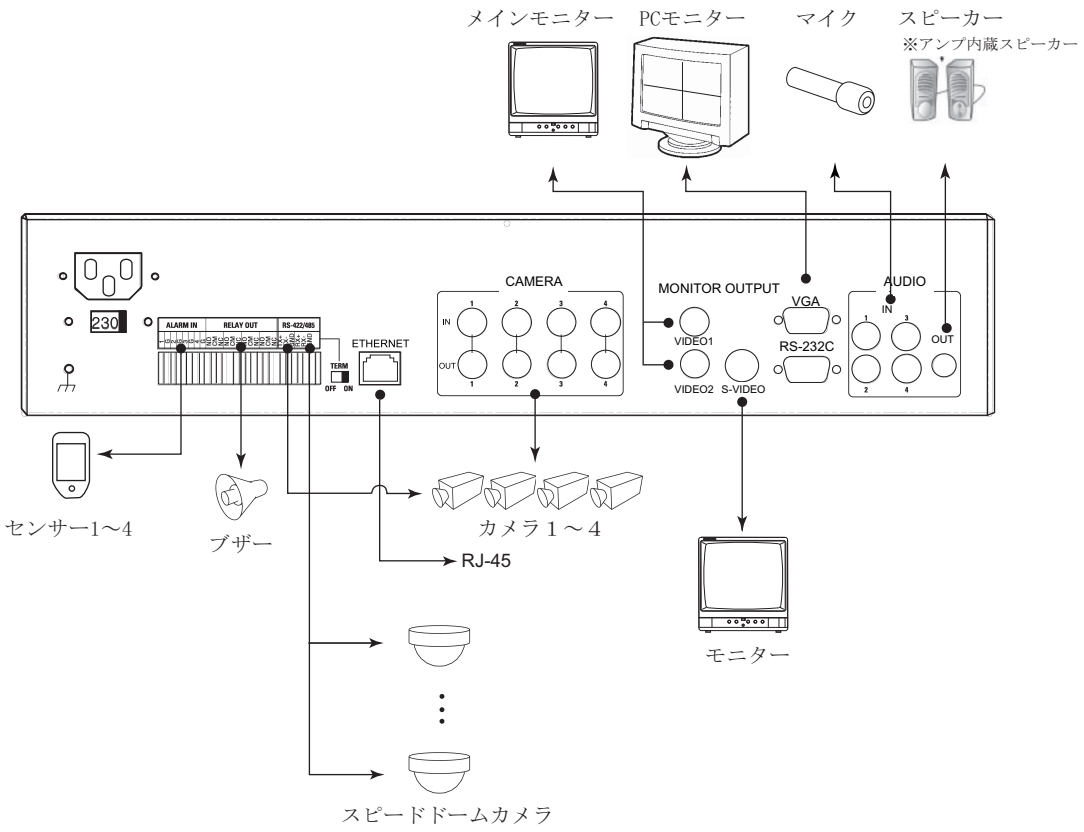
項目	仕様
付属品	ネットワークビューアープログラム 取扱説明書 リモートコントロール リムーバブル HDD ラックキー及びネジ ラック取付け用金具 電源ケーブル

第 3 章

設置方法

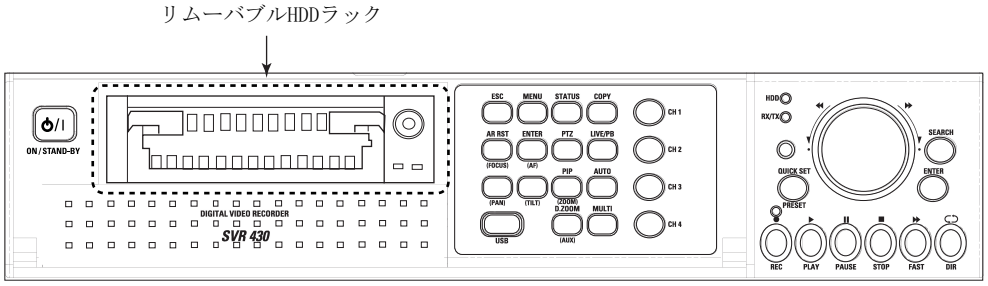
3.1　各部の接続法

SVR-430 とモニター、CCTV 及び外部機器の接続は下記の通りです。



3.2 接続の詳細

3.2.1 リムーバブル **HDD** ラックの設置方法



1. 本体の電源を切ってから、リムーバブル HDD を取り付けます。
2. リムーバブル HDD をジャンパー設定で**SLAVE MODE**に設定し、確認します。
   (Master Mode に設定すると HDD を破損します。)
   HDD のジャンパー設定には HDD の取扱説明書を参照ください。
3. HDD ラックにリムーバブル HDD を装填するには、リムーバブル HDD をクリック音が聞こえるまで、押し込みます。
4. リムーバブル HDD を装填後、HDD ラックの前の穴にキーを挿入し、HDD ラックを固定するため、キーを反時計方向に回し、次に本体の電源を ON します。
5. 電源投入後、リムーバブル HDD の緑色 LED が点灯していることを確認します。
   もし、緑色 LED が点灯していない場合は、1 ~ 3 の手順を繰り返します。

⚠ 注意　リムーバブル HDD を装填あるいは取り出す場合は、必ず本体の電源を OFF してください。

3.2.2 ラックマウント

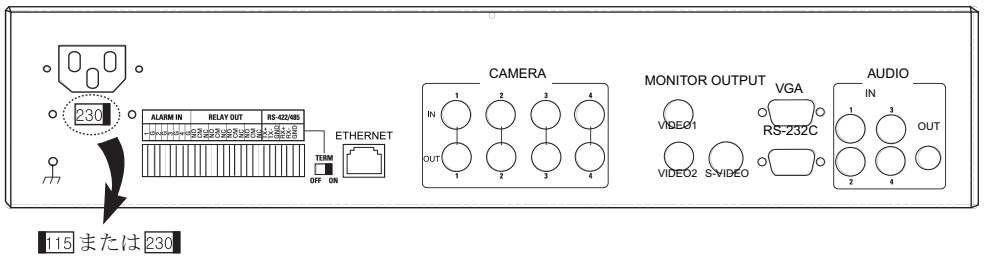
ラックマウントは本体の作動前に取り付けてください。取り付け手順は下記の通りです。

1. 本体にラックマウント金具を取り付けます。

2. １９”ラックに本体を取り付けます。

3.2.3 電源

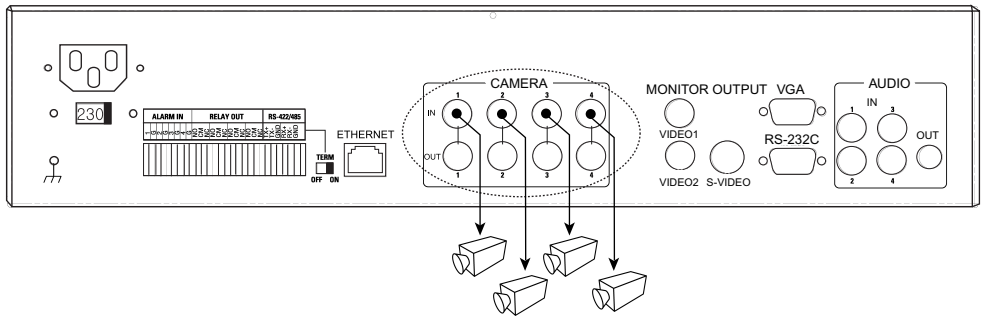
1. 電源ケーブルを接続前に電源電圧を確認ください。工場出荷時は AC100V に設定されています。



2. 電源電圧切換えスイッチを確認してから電源を ON してください。

3.2.4 カメラ

SVR-430 は CCTV カメラ 4 台用です。
各カメラの映像信号ケーブルの BNC コネクターを DVR の**CAMERA IN**に接続します。



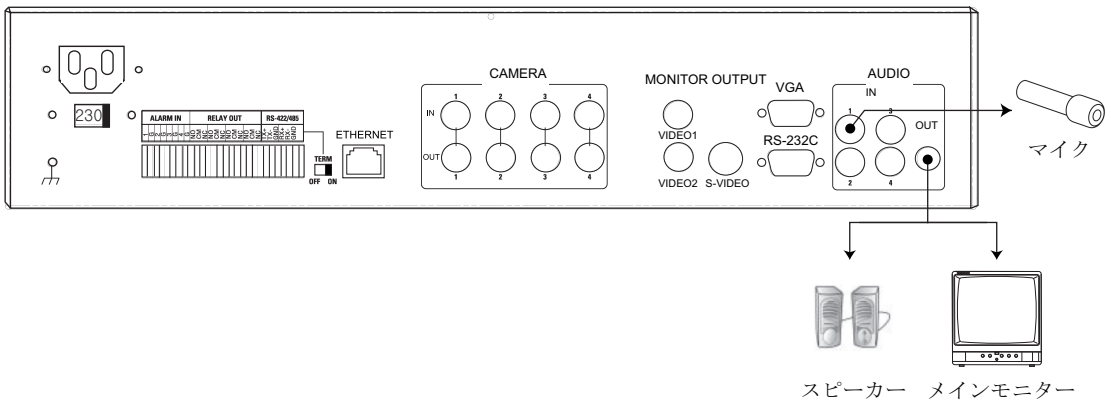
⚠ 注意

- BNC コネクターが CAMERA IN コネクターだけに接続されていれば、本体は自動終端します。
- BNC コネクターが CAMERA IN と CAMERA OUT の両方に接続されている場合は、最終の接続機器で終端しなくてはなりません。
- CAMERA OUT に外部機器を接続しないで、同軸ケーブルのみを接続した場合は、終端されないため、画質は劣化します。
- 本ユニット NTSC/PAL 兼用機です。映像信号の方式は、本体の ON/STAND － BY ボタンを押すことで、自動的に判別します。DVR を使用中に方式の異なる映像信号を入力する場合は、電源を一度切り、再度投入することで方式を自動判別します。

⚠ 注　本体背面の**CAMERA OUT**コネクターに接続されたモニターには同時に接続されたカメラ映像が同時に表示されます。

3.2.5　録音

サムスン SVR-430 は音声を録音できます。録音したり、音声を出力するには関連機器の接続を必要とします。



音声接続

RCA 音声入力コネクターを、本体背面の**AUDIO IN**端子に接続します。

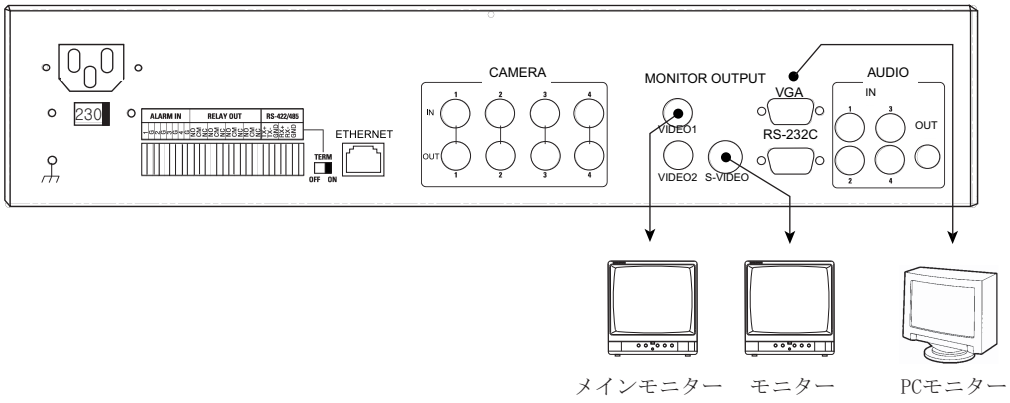
⚠ 注
- 音声入力には、設定メニューの録画設定で、**[Audio]**を**[ON]**に設定します。4.6章録画設定の詳細を参照）
- 録画中音声が録音されると、分割画面モードに関係なく、再生中に音声を聞くことができます。

音声出力

RCA 音声入力コネクター（スピーカー内蔵のモニター等）を、本体背面の**AUDIO OUT**端子に接続します。

3.2.6　モニター

本体背面の**MONITOR OUT**の**VIDEO** 1 にメインモニターを接続します。モニターは、コンポジット映像用 2 台、S-ビデオ用 1 台及び VGA 用 1 台です。

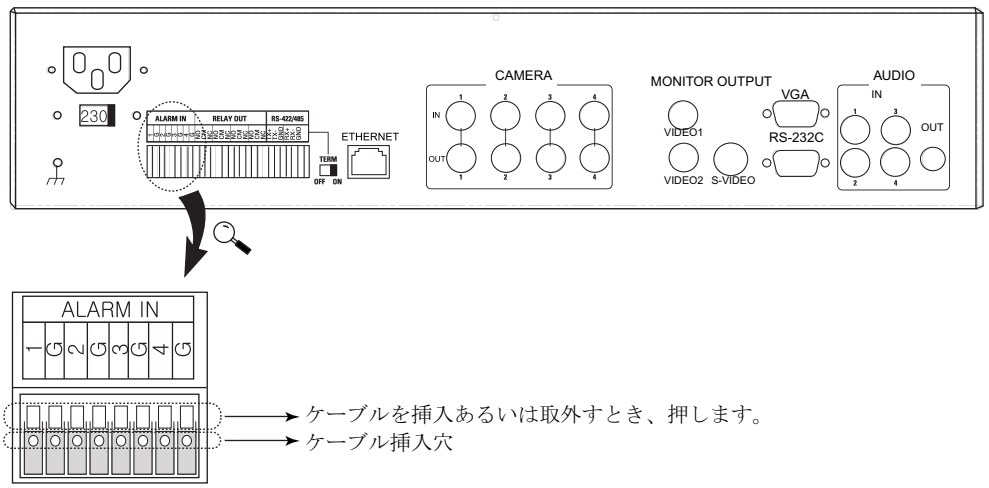


メインモニター　モニター　PCモニター

3.2.7　外部コネクター

アラーム入力（**ALARM IN**）

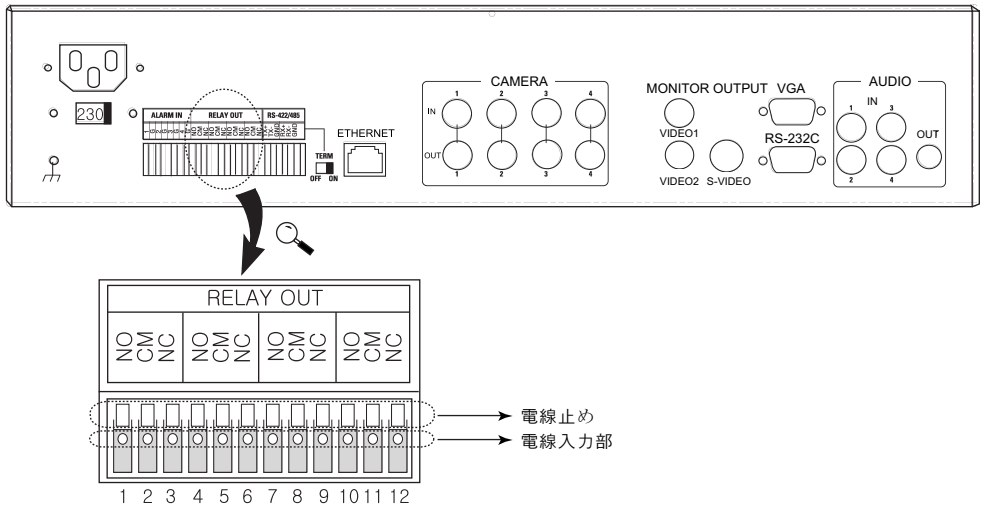
外部センサー入力接続により、外部に接続されたセンサーからの信号を DVR に入力します。



番号	仕様
1, 2, 3, 4	外部アラーム入力
G, G, G, G	コモン接地

リレー出力（**RELAY OUT**）

このアラーム出力端子は外部機器へアラームを出力するためにリレー接点を用いています。
NO（ノーマリーオープン）、CM(コモン) あるいは NC（ノーマリークローズ）を選択できます。

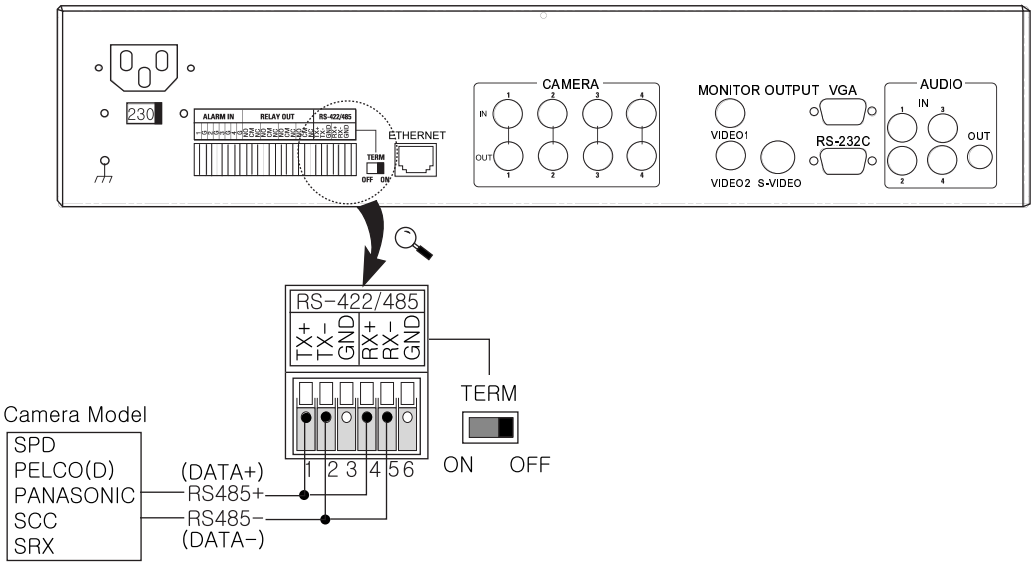


番号	仕様		番号	仕様	
1	NO	リレー 1	7	NO	リレー 3
2	CM		8	CM	
3	NC		9	NC	
4	NO	リレー 2	10	NO	リレー 4
5	CM		11	CM	
6	NC		12	NC	

⚠ 注　それぞれのリレー出力の作動は、ビデオロス、モーション検出、センサー及びメインメニュー内イベント設定の電源の組み合わせで決まります。

外部制御機器端子 **(RS-422/485)**

この端子は外部の制御機器に接続します。
TERM と記したスイッチは RS-422/485 通信機器の終端抵抗の ON/OFF に用います。

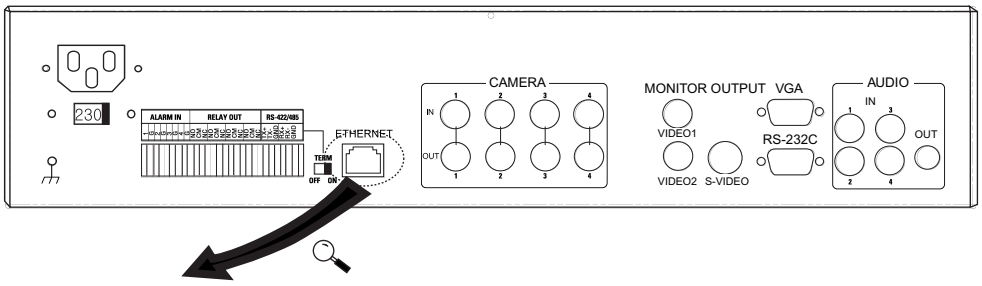


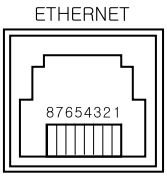
番号	仕様	
番号	RS–422	RS–485
1	TX+（+送信データ）	Data+
2	TX– (–送信データ)	Data–
3	GND (接地)	GND (接地)
4	RX+ (+受信データ)	Data+
5	RX– (–受信データ)	Data–
6	GND (接地)	GND (接地)

⚠ 注　RS-485 を使用する場合、TX+と RX+を Data+に、TX-－と RX-－を Data-－に接続します。

LAN 接続（Ethernet 10 Base--T）

このポートはネットワークに接続されます。

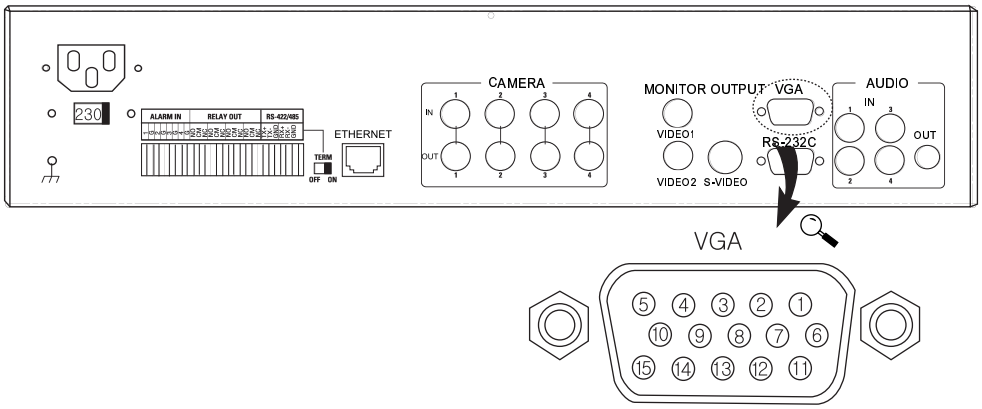




番号	仕様	番号	仕様
1	TX+ (送信データ)	5	N/C（非接続）
2	TX–（送信データ）	6	RX– (受信データ)
3	RX+（送信データ）	7	N/C（非接続）
4	N/C（非接続）	8	N/C（非接続）

MONITOR　OUPUT（VGA）

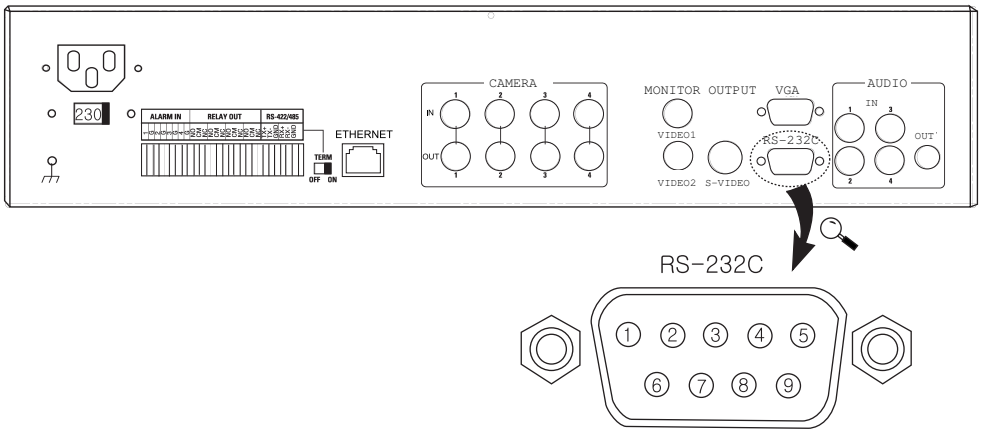
VGA モニターへの出力です。



番号	仕様	番号	仕様
1	赤信号 (75Ω, 0.7Vp–p)	9	N/C(非接続)
2	緑信号 (75Ω, 0.7Vp–p)	10	Ground
3	青信号 (75Ω, 0.7Vp–p)	11	Ground
4	N/C(非接続)	12	N/C(非接続)
5	Ground	13	HSYNC(水平同期信号)
6	Ground	14	VSYNC(垂直同期信号)
7	Ground	15	N/C(非接続)
8	Ground		

通信ポート **(RS--232C)**

このポートは PC と接続して本体を制御することに用います。



番号	仕様	番号	仕様
1	N/C(非接続)	6	N/C(非接続)
2	RxD(受信データ)	7	N/C(非接続)
3	TxD(送信データ)	8	N/C(非接続)
4	N/C(非接続)	9	N/C(非接続)
5	GND(接地)		

第 4 章

設定方法

4.1　メニューの仕様

ユニット前面あるいはリモートコントロールの MENU ボタンを押すと、ユニットの設定に関連する各種の設定用メニューが現れます。このメニューを下図に示します。

⚠ 注　言語の初期設定は日本語です。

メニューの総覧を下記に示します。（詳細は4.2～ 4.10項を参照ください。）

メインメニュー	サブメニュー	設定内容
画面設定	CH1～４	タイトル、輝度、コントラスト、シャープネス、マスク
	シーケンス切換	CH1～４、4分割切換時間、ビデオロススキップ
	状態	時刻表示、HDD残量、録画状態、タイトル表示
録画設定	リピート	上書モード、HDD残量警告
	現在	録画モード
	手動	画像サイズ、画質、録画間隔、音声
	スケジュール	画像サイズ、画質、録画間隔、音声、スケジュール
	イベント	画像サイズ、画質、録画間隔、音声、イベント後録画、 イベント前録画
イベント設定	チェック	イベントチェック、時間帯設定
	MD	CH1～４モーション検出
	センサー	センサー１～４タイプ
	リレー	タイプ、MD、センサー、ビデオロス、P、リレー１～４
	表示	イベントメッセージ、ブザー、イベント画面へ切換、 イベント表示最小時間、イベント表示最大時間
PTZ設定	CH1～４	PTZ　カメラID、モデル
通信	ネットワーク	タイプ、ｘDSL、ID/PW、DHCP、IP アドレス、SUBNET MASK、 GATEWAY、DNS、PORT
	RS-232C	ﾎﾞｰﾚｰﾄ、ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ、ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄ、ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ
	RS-422/485	システムID、ﾎﾞｰﾚｰﾄ、ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ、ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄ、ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ
システム設定	HDD	R-HDDモード、F-HDDフォーマット、バックアップHDDフォーマット
	パスワード	ユーザーパスワード、ADMINパスワード、 設定時チェック、電源ON時チェック、電源OFF時チェック、 録画断時チェック、リモート設定
	日時設定	時刻設定、日形式、表示形式、夏時間、DST開始、DST終了
	ETC	言語、音声入力形式、リモートID、キーブザー、 ファームウェアダウンロード、初期化設定

4.2 初期設定

SVR-430 は、下記に示す初期設定を行い、出荷されています。この初期設定に初期化するには、メニューの**[ETC]** -**[**システム設定**]**の **[**初期化設定**]**で **[YES]**を選択します。こうすると、すでにユーザーにより設定された設定値は全て初期設定に初期化されます。

画面設定

メインメニュー	サブメニュー	初期値
CH1 ～ 4	タイトル	1、2、3、4
	輝度	0
	コントラスト	0
	シャープネス	1
	マスクキング	OFF
シーケンス切換え	CH1 ～ 4	3 秒
	4 分割画面切換	3 秒
	ビデオロス	OFF
状態	時刻表示	ON
	HDD 残量	ON
	録画状態	ON
	タイトル表示	ON

録画設定

メインメニュー	サブメニュー	初期値
リピート	上書モード	ON
	HDD 残量警告	5
現在	録画モード	手動
手動	画像サイズ	640×240
	画質	標準
	録画間隔	3 3 3 3
	音声	OFF
スケジュール	画像サイズ	640×240
	画質	標準
	録画間隔	3 3 3 3
	音声	OFF
	スケジュール	-
イベント	画像サイズ	640×240
	画質	標準
	録画間隔	3 3 3 3
	音声	OFF
	イベント後録画	10 秒
	イベント前録画	1 秒

イベント設定

メインメニュー	サブメニュー	初期値
チェック	チェックイベント 時間帯設定	OFF
MD	CH1 ～ 4 モーション検出	ON
センサー	センサー 1 ～ 4 タイプ	NO
リレー	-	-
表示	イベントメッセージ ブザー イベント画面へ切換え イベント表示最小時間 イベント表示最大時間	ON OFF OFF 3 秒 5 秒

PTZ 設定

メインメニュー	サブメニュー	初期値
CH1 ～ 4	PTZ カメラ ID モデル	0 NONE

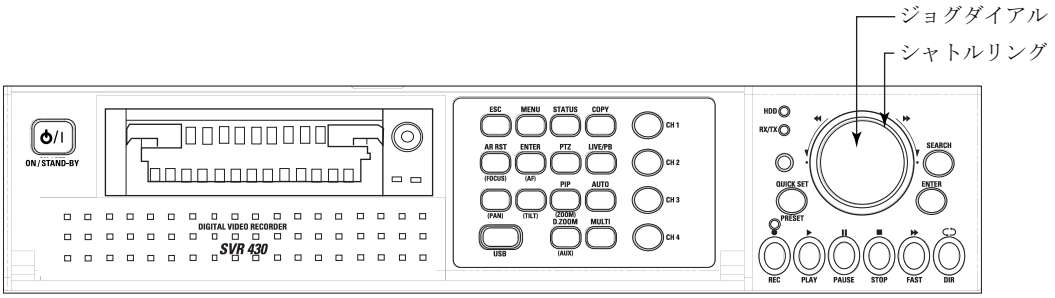
通信

メインメニュー	サブメニュー	初期値
ネットワーク	タイプ xSDL ID、PW DHCP IP アドレス SUBNET MASK GATEWAY DNS PORT	Ethernet svr430、svr430 OFF 000.000.000.000 000.000.000.000 000.000.000.000 000.000.000.000 3495
RS232	BAUD RATE DATA BIT PARITY BIT STOP BIT	9600 8 NONE 1
RS422/485	SYSTEM ID BAUD RATE DATA BIT PARITY BIT STOP BIT	1 9600 8 NONE 1

システム設定

メインメニュー	サブメニュー	初期値
HDD	F-HDD フォーマット	
	バックアップ HDD フォーマット	
	R-HDD モード	バックアップ
パスワード	ユーザーパスワード	
	ADMIN ユーザーパスワード	
	設定時チェック	OFF
	電源 ON 時チェック	OFF
	電源 OFF 時チェック	OFF
	録画断時チェック	OFF
	リモート設定	
日時設定	時刻設定	
	日形式	年/月/日
	月形式	形式 1
	夏時間	OFF
	DST 開始	4 月/ 1 st/日 2004/04/04 02:00>03:00
	DST 終了	10 月/最終/日 2004/10/24 02:00>01:00
ETC	言語	日本語
	音声入力形式	ライン
	リモート ID	ALL
	キーブザー	ON
	ファームウェアダウンロード	
	初期化設定	

4.3　ジョグ/シャトルの使用法



- ジョグ/シャトルを用いるメニューの変更と選択方法

  - シャトルリングを右に回してカーソルを右に移動します。カーソルがラインの右端に達したら、下の次のラインに移動します。（カーソルを次のラインに移動するにはシャトルリングを右端まで回します。）
  - シャトルリングを左に回してカーソルを左に移動します。カーソルがラインの左端に達したら、次のラインの左に移動します。（カーソルを次のラインの左に移動するには、シャトルリングを左端まで回します。）
  - カーソルが希望する位置に達したら、メニュー上の数値をジョグダイアルで設定します。

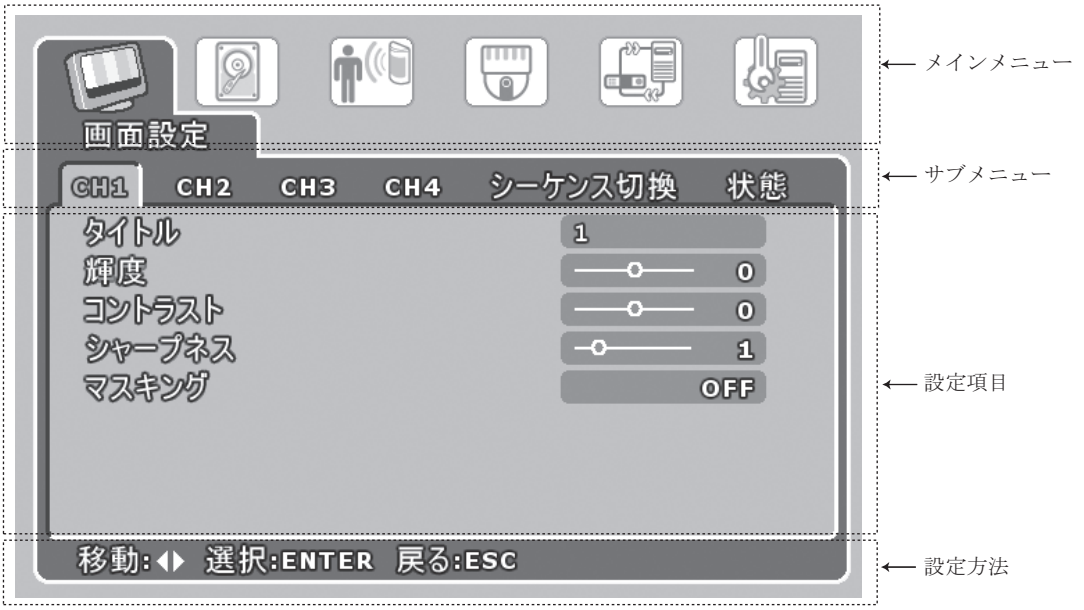
- 矢印ボタンを用いるメニューの変更と選択方法

  - ◄ ►:カーソルを左右に移動します。
  - ▲ ▼ :カーソルを上下に移動します。
  - ⏷⏶:設定値を増減します。

⚠ 注　2.3.1項前面コントロールパネルのジョグ/シャトルリングを参照ください。

4.4 メニュー画面設定

リモートコントロールまたはメインコントロールのMENU ボタンを選びENTER ボタンを押すと下記画面が現れます。



⚠ 注 MENU を押すと、背景は４分割画面に切換わります。

- メインメニュー：それぞれのタブに対応するメインメニューの選択。
- サブメニュー：メインメニュー上で設定できるサブメニューの選択。
- 設定項目：サブメニュー上の設定の変更。
- 設定方法：このメッセージは設定方法を教えます。
- 録画設定には少し時間がかかるため、しばらく待ってください。
- 録画設定以外のメニューでは変更する直ちに変更する設定が適用されます。

操作

- ユニットのボタンを用いた操作
  - メニュー間を左/右に移動:矢印ボタン◀ ▶ を押します。
  - メニュー選択: ENTER を押します。
  - 設定値の変更:ジョグダイアルを回すか、▼ ▲ ボタンを押します。
  - メニュー画面終了: ESC ボタンを押します。

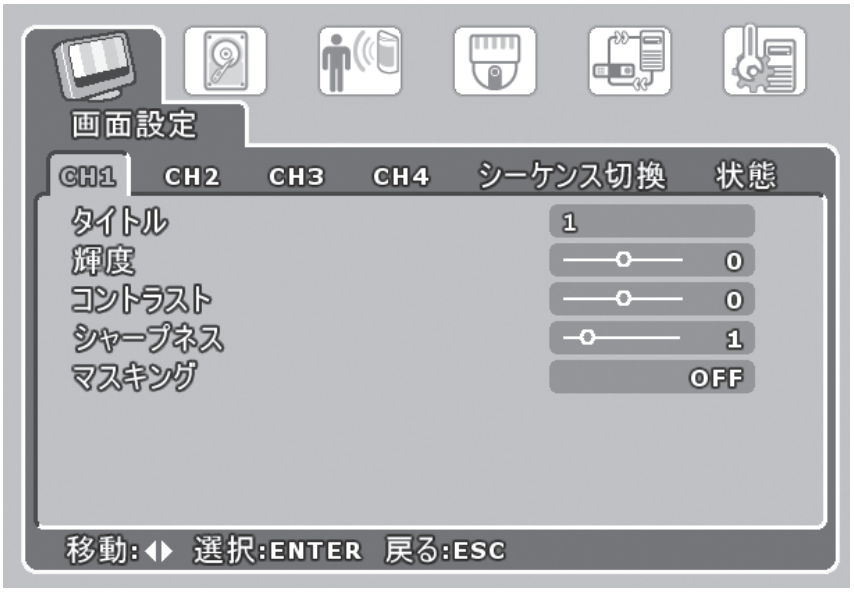
- リモートコントロールを用いた操作
  - メニュー間を左/右に移動:矢印ボタン◀ ▶を押します。
  - メニュー選択: ENTER を押します。
  - 設定値の変更: (−) (+) ボタンを押します。
  - メニュー画面終了: ESC ボタンを押します。

4.5　画面設定

MENU ボタンを押して、左 (◄)、右 (►) 矢印ボタンで タブを選ぶと、下図に示すようにサブメニューが現れます。ENTER を押して、左 (◄)、右 (►) 矢印ボタンを用いてサブメニューを選びます。再度 ENTER を押して、上 (▲)、下 (▼) ボタンを用いて設定項目を選択できます。

4.5.1　CH1～CH4

チャンネルタイトルや輝度のようなチャンネル毎に設定項目を選びます。



- チャンネルタイトル:タイトルは、各チャンネル毎に独立に設定できます。チャンネルタイトルを選び、ENTER を押すと、タイトルを入力するためのキャラクター表が下記のように現れます。チャンネルタイトル内の文字位置はジョグダイアルで指示できます。
  - カーソル移動後、該当文字を選択するためにENTER ボタンを押します。
  - 設定の終了で ESC ボタンを押します。
  - 文字循環中を移動するには上/下矢印ボタンを押します。
  - スーペースを挿入するには画面のSPACE にカーソルを移動し、それからリモートコトロールまたは本体のENTER ボタンを押します。

- 輝度:数値を変えることで画面の明るさを調整します。
- コントラスト:数値を変えることで画面のコントラストを調整します。
- シャープネス:数値を変えることで画面の鮮鋭度を調整します。
- マスクキング:録画及び再生中、ライブ画面に映像を表示させない機能です。

4.5.2 シーケンス切換え

ライブ映像は CH1 → CH2 → CH3 → CH4 → 4 分割切換え時間の順に設定された時間で自動的に切換わります。切換え時間は **[**シーケンス切換**]**メニューで 1 から 99 秒に設定できます。**[OFF]**に設定されたチャンネルの映像はスキップされ、表示されません。

- CH1 ～ 4:チャンネルごとに映像表示時間を設定できます。
- 4 分割表示時間:映像表示時間を設定できます。
- ビデオロススキップ [ON/OFF]:ビデオロススキップを**[ON]**すると、映像信号がないチャンネルは自動的にスキップされ、信号のあるチャンネルのみ表示されます。

4.5.3 状態

ライブ画面に表示する情報の選択。

- 時刻表示 [ON/OFF]: 時刻表示**[ON]**で現在時刻を画面に表示します。

- HDD 残量 [ON/OFF]: HDD 残量 **[ON]**で録画できるＨＤＤの残量を表示します。
- 録画状態 [ON/OFF]: 録画状態 **[ON]**で録画状態（「ＮＮＮＮ」）が録画中、画面の右上端に表示します。

⚠ 注　録画状態表示の詳細は、「**5.4**項　録画」を参照ください。

- タイトル表示[ON/OFF]: タイトル表示**[ON]**でユーザー設定の「ＣＨ１～４」のタイトルが、ライブ画面に表示されます。

4.6　録画設定

MENU ボタンを押して、左 (◄)、右 (►) ボタンで タブを選択すると、サブメニューが下図のように表示されます。ENTER を押して左 (◄)、右 (►) ボタンでサブメニューを選びます。再度 ENTER を押すと、上 (▲)、下 (▼) ボタンで設定メニューを選択できます。

4.6.1 リピート

監視中の画面を HDD に録画できます。HDD の録画容量は内蔵する HDD のタイプにより異なります。

- 上書モード [ON/OFF]:上書きするか、設定します。
  - ON: HDD に録画残量がないと、録画は上書きして録画を続けます。
  - OFF: HDD に録画残量がないと、録画を停止します。
- HDD 残量警告: HDD の残量が前もって決められたに達すると、残量警告メッセージが表示されます。この警告は通常、1 ～ 10 に設定できます。

4.6.2 現在

監視画面を録画する方法を下図のように 3 種選択できます。

- 手動：手動で直ちに録画します。
- スケジュール：予約した日時に録画します。
- イベント：アラーム発生時あるいは異常な操作を検出した場合で、種類は下記の通りです。
  - モーション検出：画面内の変化をイベントとして設定した場合。
  - 本体背面の ALARM IN 端子に接続した外部センサーからの発報時の信号をイベントとして設定した場合。
  - ビデオロス：カメラの無信号をイベントとして設定した場合。

4.6.3 通常録画

手動録画は、下記のようにサブメニューで設定できます。

- 画像サイズ[640×480/640×240/320×240]: 録画映像の解像度の設定。
- 画質 [低/中/高]: 録画映像の圧縮レベルの設定。
- 録画間隔: **[**画像サイズ**]**メニューで希望する解像度を選ぶと、対応する録画フレームレートが自動的に**[**録画間隔**]**に入力します。初期設定は下記の通りです。

NTSC		PAL	
画像サイズ	チャンネルごとのフレームレート	画像サイズ	チャンネルごとのフレームレート
640×480	7 フレーム/秒	640×576	6 フレーム/秒
640×240	15 フィールド/秒	640×288	12 フィールド/秒
320×240	30 フレーム/秒	320×288	25 フレーム/秒

ユーザーはフレームレートを変更、設定できます。各解像度に対応した最大フレームレートを下記に示します。(最大フレームレートは、各チャンネルの総計です。)

NTSC		PAL	
画像サイズ	チャンネルごとの最大フレームレート総計	画像サイズ	チャンネルごとの最大フレームレート総計
640×480	30 フレーム/秒	640×576	25 フレーム/秒
640×240	60 フィールド/秒	640×288	50 フィールド/秒
320×240	120 フレーム/秒	320×288	100 フレーム/秒

- 音声 [ON/OFF]: 映像とともに音声を録音するか選択します。ON にすると、音声データは PCM 形式で録音されます。(サンプルレート：8kHz)

⚠ 注 640×240、640×288 モードでは、偶数、奇数チャンネルにそれぞれ 30 フィールドまで設定できます。

4.6.4 スケジュール

予約録画は下図にようにサブメニューで設定します。

- 画像サイズ [640×480/640×240/320×240]: 録画映像の解像度の設定。
- 画質 [低/標準/高]: 録画映像の圧縮レベルの設定。
- 録画間隔: **[**画像サイズ**]**メニューで希望する解像度を選ぶと、対応する録画フレームレートが自動的に**[**録画間隔**]**に入力します。初期設定は下記の通りです。

NTSC		PAL	
画像サイズ	チャンネルごとのフレームレート	画像サイズ	チャンネルごとのフレームレート
640×480	7 フレーム/秒	640×576	6 フレーム/秒
640×240	15 フィールド/秒	640×288	12 フィールド/秒
320×240	30 フレーム/秒	320×288	25 フレーム/秒

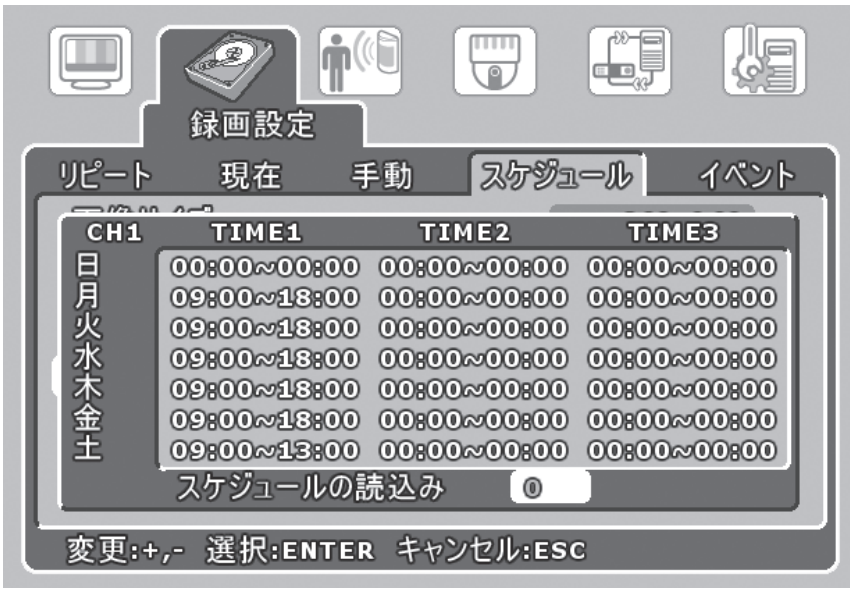
ユーザーはフレームレートを変更、設定できます。各解像度に対応した最大フレームレートを下記に示します。(最大フレームレートは、各チャンネルの総計です。)

NTSC		PAL	
画像サイズ	チャンネルごとの最大フレームレート総計	画像サイズ	チャンネルごとの最大フレームレート総計
640×480	30 フレーム/秒	640×576	25 フレーム/秒
640×240	60 フィールド/秒	640×288	50 フィールド/秒
320×240	120 フレーム/秒	320×288	100 フレーム/秒

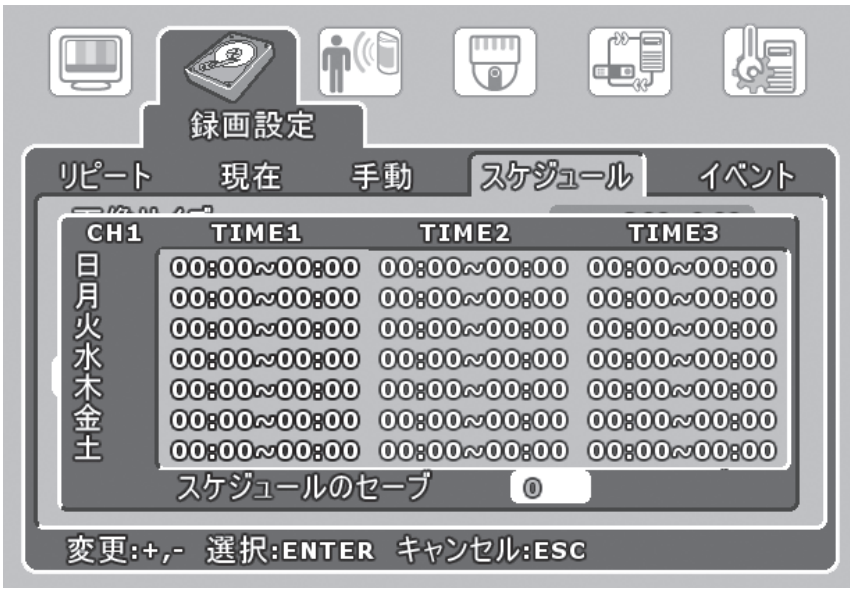
⚠ 注 640×240、640×288 モードでは、偶数、奇数チャンネルにそれぞれ 30 フィールドまで設定できます。

- 音声 [ON/OFF]: 映像とともに音声を録音するか選択します。
- スケジュール: **[TIME1]**、**[TIME2]**及び**[TIME3]**に、それぞれの録画時刻をプリセットします。

- スケジュール書込み: スケジュール時間に対応して録画時刻をプリセットします。プリセットは８種類までセーブできます。



● スケジュールのセーブ: 現在のスケジュールデータをセーブします。８プリセットまでセーブできます。



● プリセット手順

1. スケジュール録画の**[**録画設定**]**の**[**スケジュール**]**メニューの [CH1]、[CH2]、[CH3]　及び [CH4] の一つを選びます。
2. 上 (▲)/下 (▼) と左 (◄)/右 (►) ボタンで希望する日の [TIME1]、[TIME2] 及び [TIME3] に時刻を入力します。
3. **[**スケジュールをセーブ**]**に行き、ENTER を押します。
4. (+) /(–) ボタンでスケジュール番号の０から７の一つを選びます。
5. ENTER を押すとビープ音で「スケジュールをセーブ」を終了します。
6. **[**スケジュール書込み**]**を選び(+) /(–) ボタンを押し、プリセット時刻を書込みます。
7. ENTER を押して、「スケジュール書込み」を終了します。

4.6.5 イベント

イベント録画は下記のようにサブメニューを選びます。

- 画像サイズ [640×480/640×240/320×240]: 録画映像の解像度の設定。
- 画質[低/標準/高]: 録画映像の圧縮レベルの設定。
- 録画間隔: **[**画像サイズ**]**メニューで希望する解像度を選ぶと、対応する録画フレームレートが自動的に**[**録画間隔**]**に入力します。初期設定は下記の通りです。

NTSC		PAL	
画像サイズ	チャンネルごとのフレームレート	画像サイズ	チャンネルごとのフレームレート
640×480	7 フレーム/秒	640×576	6 フレーム/秒
640×240	15 フィールド/秒	640×288	12 フィールド/秒
320×240	30 フレーム/秒	320×288	25 フレーム/秒

ユーザーはフレームレートを変更、設定できます。各解像度に対応した最大フレームレートを下記に示します。(最大フレームレートは、各チャンネルの総計です。)

NTSC		PAL	
画像サイズ	チャンネルごとの最大フレームレート総計	画像サイズ	チャンネルごとの最大フレームレート総計
640×480	30 フレーム/秒	640×576	25 フレーム/秒
640×240	60 フィールド/秒	640×288	50 フィールド/秒
320×240	120 フレーム/秒	320×288	100 フレーム/秒

⚠ 注 640×240、640×288 モードでは、偶数、奇数チャンネルにそれぞれ 30 フィールドまで設定できます。

- 音声 [ON/OFF]: 映像とともに音声を録音するか選択します。
- イベント後録画(時間): イベント発生後、設定された時間録画します。設定値は 2 秒から 5 分です。

● イベント前録画（時間）: イベント発生前の映像を録画します。設定値は 0 から 5 秒です。

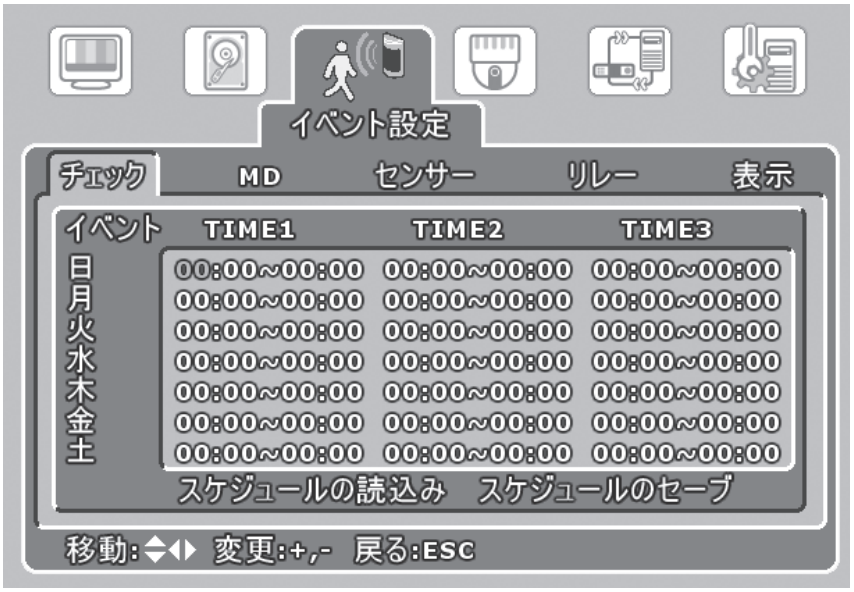
注 **[**イベント前録画**]**を**[**0**]**に設定すると、プリイベント録画は無効になります。

4.7 イベント設定

MENU ボタンを押して左（◀）/右（▶）ボタンで、タブを選択すると、サブメニューが下図のように現れます。ENTER を押して左（◀）/右（▶）ボタンでサブメニューを選びます。再度ENTER を押すと、上（▲）/下（▼）ボタンで設定する項目を選択できます。

4.7.1 チェック

- チェックイベント[常時/動作時間帯/OFF]: イベント動作の種類を選びます。**[**動作時間帯**]**はイベントを**[**動作時間帯**]**に設定した場合のみ、有効です。
- 動作時間帯設定: **[**イベント**]**で**[**動作時間帯**]**を選択すると**[**動作時間帯**]**が有効になり、録画時間を設定できます。



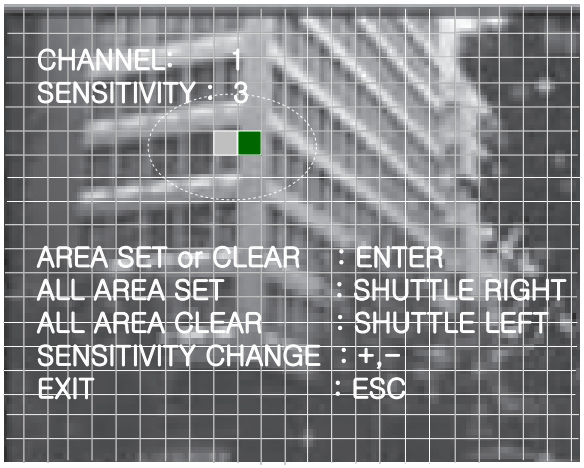
注 **[**スケジュール書込み**]**/**[**スケジュールのセーブ**]**については、「4.6.4項スケジュール（録画設定）」を参照ください。

4.7.2 MD

カメラ映像内の移動物体を検出します。何らかの変化があれば、イベントとして作動します。

- CH1 ～CH4 モーション検出 [ON/OFF]:チャンネルごとに検出するかどうか設定します。

- **[ON]**を選び、続けて「→→」ボタンを選択し、ENTER を押します。下図のように格子図形が表示され、モーション検出する領域を選択できます。



- 関係するブロック (領域) のみ選択:オレンジ色の関連ブロックで ENTER を押すと色は緑に変わり、ブロックは選択されます。上（▲）/下（▼）と左（◀）/右（▶）ボタンを用いて、四角格子間を移動します。中止するには関連格子を選び、ENTER を再度押します。
- 全て選択：シャトルリングを右に回します。
- 全てを削除：シャトルリングを左に回します。
- 感度調整 (+、−): 1 から 5 までのレベルで検出感度を設定できます。高い感度では微小な変化を検出します。

4.7.3 センサー

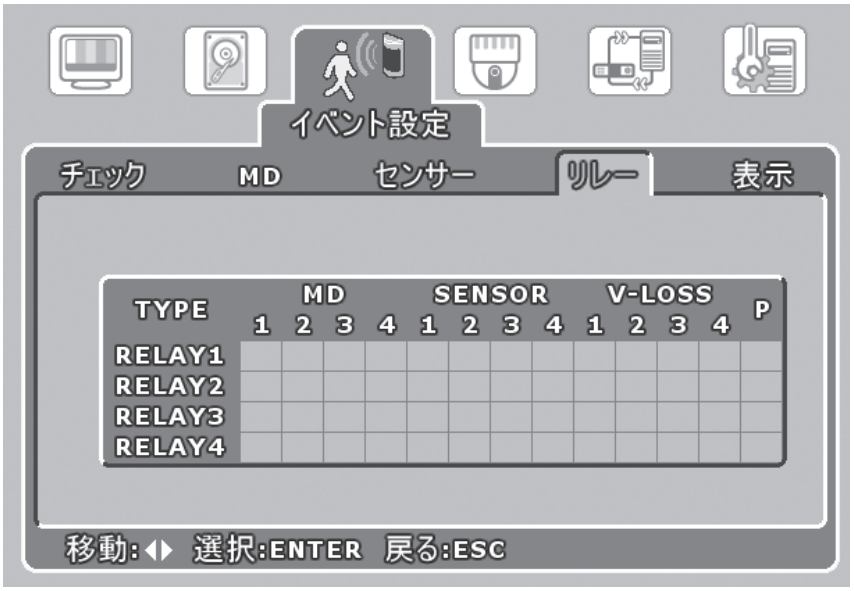
外部接続のセンサー入力をイベントとして検知します。一つのセンサーをそれぞれのチャンネルに接続します。

- センサー 1 ～ 4 タイプ [NO/NC]:それぞれのチャンネルに接続しているセンサーのスイッチタイプを選択します。

  - NO:ノーマリーオープンセンサー
  - NC:ノーマリークローズセンサー

4.7.4 リレー

イベント発生で本体背面の「RELAY OUT」に接続している外部機器にアラームを出力します。



- リレー 1 ～ 4

  - MD:チャンネル１～４の中で選択されたチャンネルのモーション検出によるイベント検出。
  - センサー:選択されたセンサーによる検出。
  - ビデオロス:ビデオロスの検出。
  - P:電源が on か off。

4.7.5 表示

イベント発生時、画面に表示されるアラームに関するサブメニューの設定

- イベントメッセージ [ON/OFF]: テキスト形式で画面にイベント表示するか選択します。
- ブザー [ON/OFF]: アラーム発生時、ブザー音の選択。

- イベント画面へ切換え [ON/OFF]: イベント画面をフル画面で表示するか、現在画面を保持するか選択します。

- イベント表示最小時間: 引き続くイベントでリセットされるイベント画面の最小表示時間で、1 から 99 秒まで設定でいきます。

- イベント表示最大時間: 1 から 99 秒までイベント画面の最大表示時間を設定します。**[**保持**]**を有効にするとイベント画面を連続に表示します。

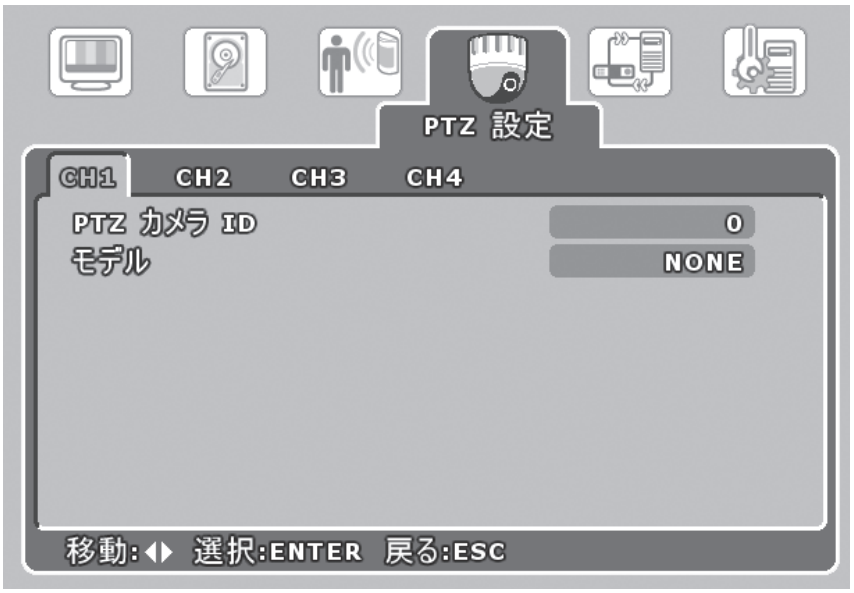
⚠ 注 **[**イベント表示最大時間**]**は**[**イベント表示最小時間**]**より短く設定できません。

4.8 PTZ 設定

MENU ボタンを押して、左（◀)/右（▶）ボタンで タブを選ぶと、下図に示すサブメニューが現れます。ENTER を押して、左（◀)/右（▶）ボタンでサブメニューを選択します。再度ENTER を押すと、上（▲)/下（▼ ）ボタンで設定項目を選択できます。

チャンネルによる設定

チャンネルでカメラ ID を指定し、カメラモデルを設定します。

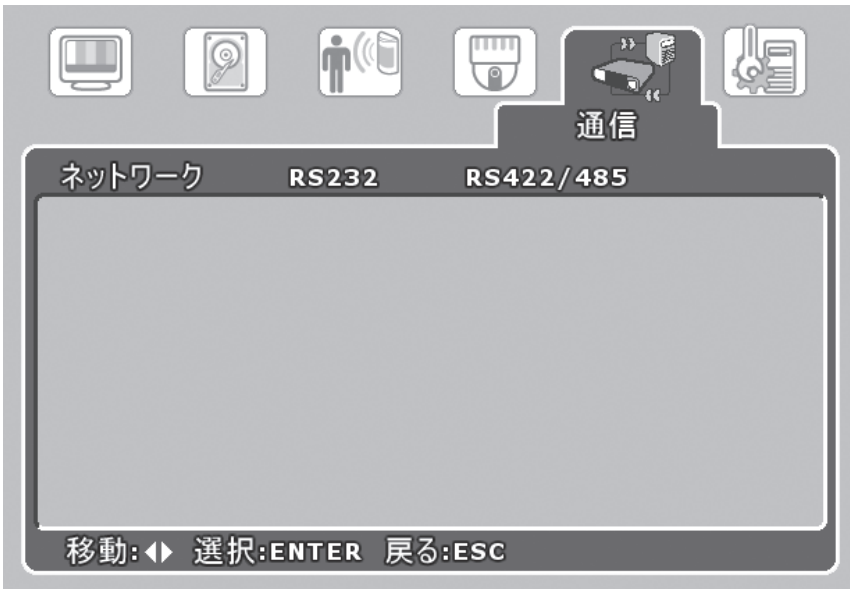


- PTZ カメラ ID [0 ～ 255]:カメラ ID は 0 から 255 が指定できます。

- モデル [NONE/SPD/PELCO(D)/PANASONIC/SCC/SRX]:接続したカメラメーカーを選択します。それぞれのカメラからの信号はメーカーにより異なります。モデルにより正確に設定することです。
  - 使用可能モデル
    * Samsung: SPD(SPD–1600、SPD–2500)
    * Pelco(D):プロトコルを用いた Pelco 'D 'Speed Dome
    * Panasonic: WV-CS854
    * SCC: SCC-643
    * SRX: Samsung Receiver(SRX-100B)

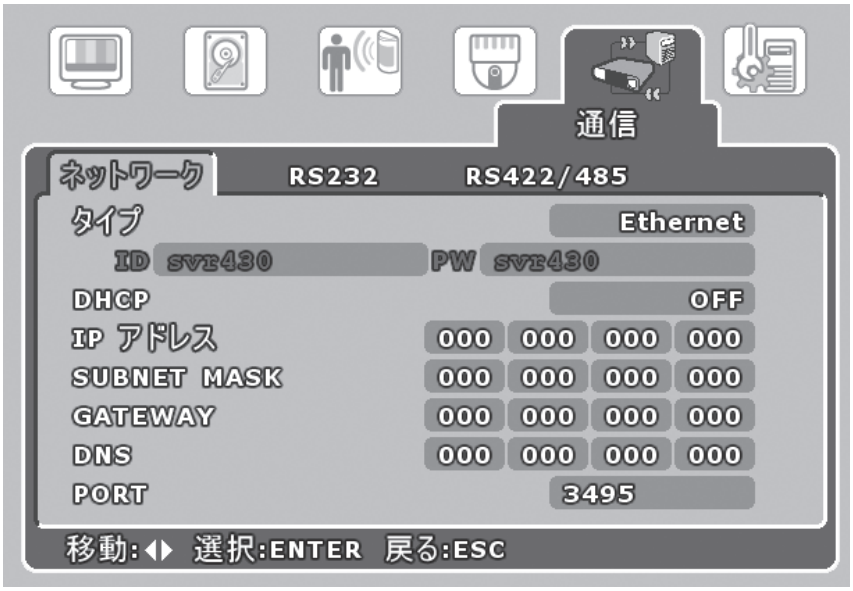
4.9 通信

MENU ボタンを押して、左（◀)/右（▶）ボタンで タブを選ぶと、下図に示すサブメニューが現れます。ENTER を押して、左（◀)/右（▶）ボタンでサブメニューを選択します。再度ENTER を押すと、上（▲)/下（▼ ）ボタンで設定項目を選択できます。



4.9.1 ネットワーク

コンピュータへのネットワーク接続に必要な項目を設定します。



- タイプ [Ethernet/xDSL:] コンピュータへ接続するネットワークタイプを選びます。
- xDSL ID/PW: **[タイプ]を[xDSL]**に設定すると有効になります。
- ID: 関連するサービスプロバイダーに登録したユーザー ID を入力します。
- PW: 関連するサービスプロバイダーに登録したユーザーパスワードを入力します。

- DHCP [ON/OFF]: Dynamic Host Configuration Protocol で割り当てられた自動 IP アドレスを選択します。

- IP アドレス: 関連するインターネットサービスプロバイダーがユーザーに指定した [IP アドレス] を入力します。

- SUBNET MASK: 関連するインターネットサービスプロバイダーがユーザーに指定した [SUBNET MASK] アドレスを入力します。

- GATEWAY: 関連するインターネットサービスプロバイダーがユーザーに指定した [GATEWAY] アドレスを入力します。

- DNS: 関連するインターネットサービスプロバイダーがユーザーに指定した [DNS] アドレスを入力します。

- PORT: コンピュータで接続した指定された [PORT] に変更します。

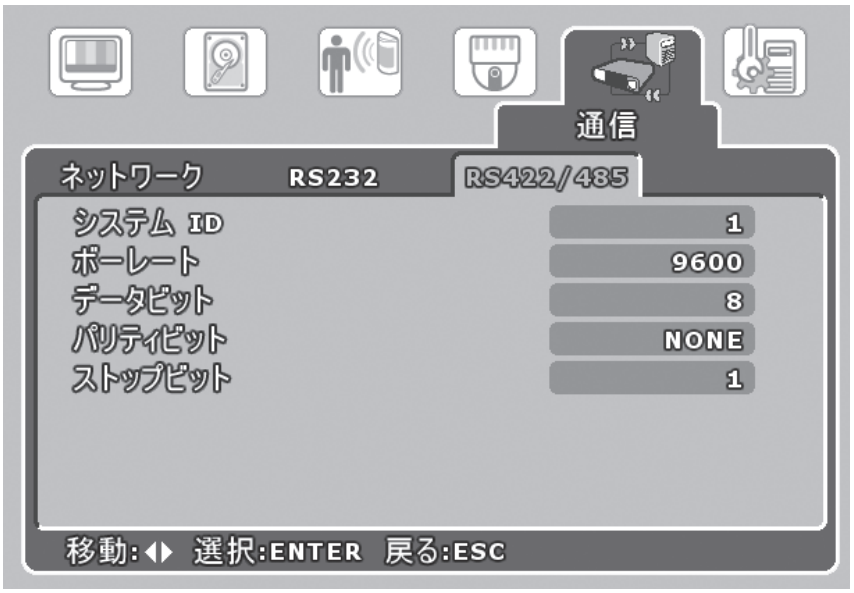
4.9.2 RS--232（予備端子）

シリアルポートによりユニットに接続したコンピュータの接続仕様を設定します。

- ボーレート：毎秒のデータ伝送速度の設定。
- データビット：データ伝送ビット数の設定
- パリティビット：データ伝送のエラー検出法の設定
- ストップビット：データ伝送終了に挿入するビットの設定

4.9.3 RS--422/485

ユニットと監視機器間の接続詳細設定。例えば、カメラと他の機器との接続状態を設定します。



- システム ID: カメラのような機器をユニットに接続する場合、ユニットが認識可能な機器 ID を設定します。

- ボーレート: 毎秒のデータ伝送速度の設定。
- データビット: データ伝送ビット数の設定
- パリティビット: データ伝送のエラー検出法の設定
- ストップビット: データ伝送終了に挿入するビットの設定

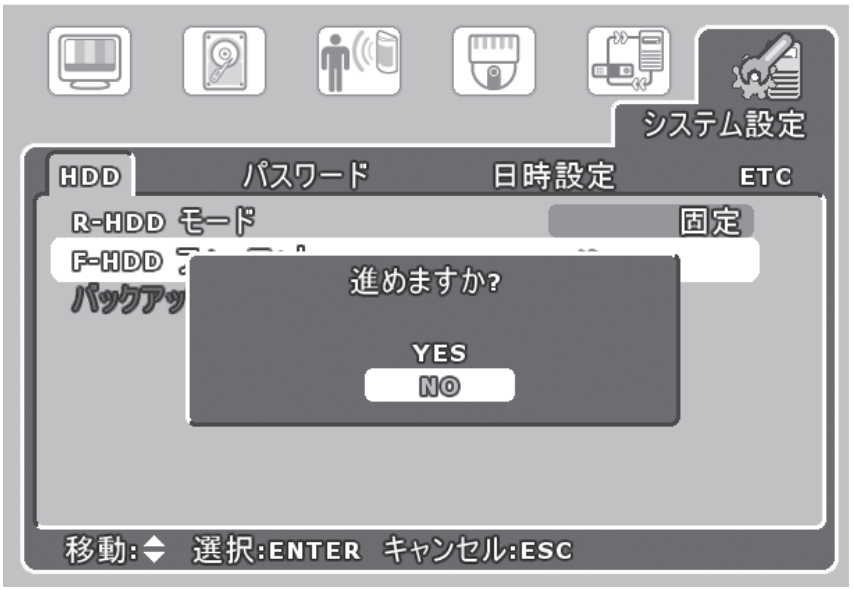
4.10　システム設定

MENU ボタンを押して、左（◀)/右（▶）ボタンで タブを選ぶと、下図に示すサブメニューが現れます。ENTER を押して、左（◀)/右（▶）ボタンでサブメニューを選択します。再度ENTER を押すと、上（▲)/下（▼ ）ボタンで設定項目を選択できます。

4.10.1　HDD

本体内蔵の HDD の設定

● F-HDD フォーマット: F-HDD の初期化を選択します。ENTER を押すと、F-HDD の初期化を確認するダイアログボックスが現れます。



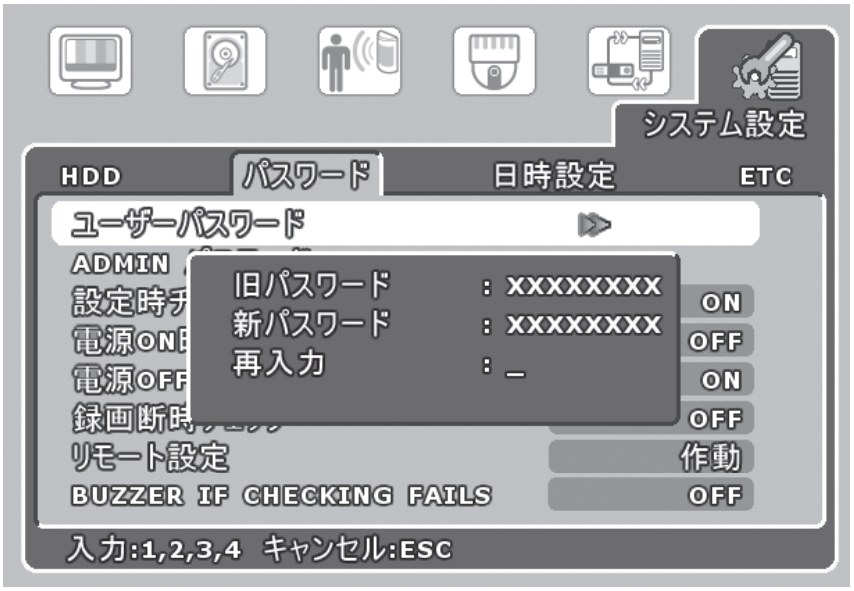
- バックアップ-HDDフォーマット:オプションとして付加したバックアップ-HDDを初期化するかを設定します。
- R-HDDモード [固定/バックアップ]付加した R-HDDは F-HDDかバックアップ HDD か決めます。

⚠ 注
- HDD の初期化は HDD に記憶していたデータを全て削除します。
  (HDD は録画中は初期化できません。)
- R-HDD設置に関しては、「3.2項　詳細接続」を参照ください。

4.10.2 パスワード

ユーザー及び Administratorパスワードの設定

- ユーザーパスワード: ユーザーパスワードの設定。[ENTER] を押すと下図のようなパスワード設定用のダイアログボックスが現れます。



- ADMIN パスワード: Administaratorパスワードの設定
- 設定時チェック[ON/OFF]:設定でパスワードを入力するか選びます。

- 電源 ON 時チェック[ON/OFF]: MENU ボタンを押すとメインメニューが現れます。次にパスワードを入力するか選びます。

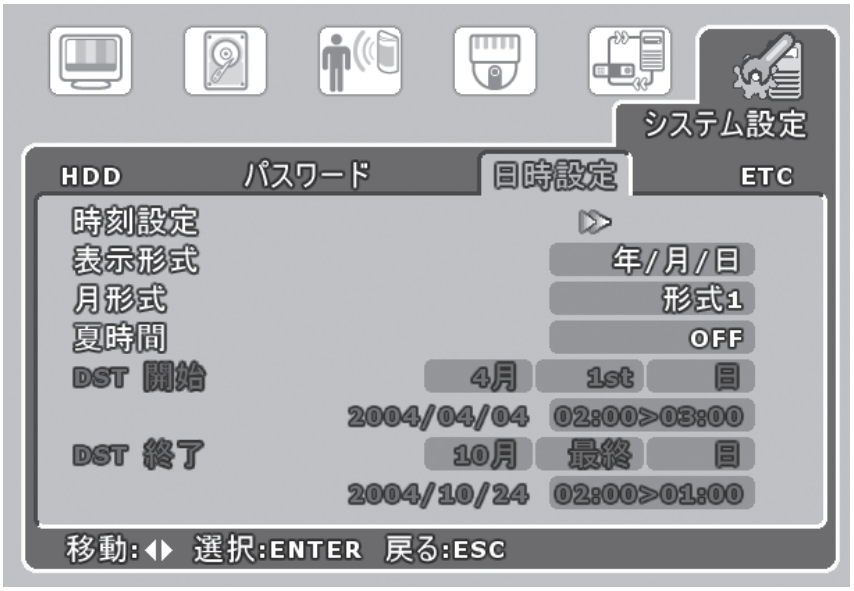
- 電源 OFF 時チェック[ON/OFF]:電源 OFF 時、パスワードを入力するか選びます。
- リモート設定[可能/不可]: ネットワークからメニューを、リモート設定が可能か不可能か設定します。
- BUZZER IF CHECKING FAILS : パスワード入力が3回以上間違うとブザーが鳴ります。

⚠ 注

- システムユーザー権限
  - Administrator:全てのシステム設定の。
  - ユーザー:ネットワークを通してのみアクセス権限。
- 出荷時の初期設定パスワード
  - Administratorは（１１１１１１１１）入力後、パスワードを変更できます。
  - ユーザーは（２２２２２２２２）入力後、パスワードを変更できます。

4.10.3 日時設定

本体に日時を設定します。



- 時刻設定: 下記のダイアログボックスで時刻を設定し、**[**設定**]**を選び、次に**[**終了 **SET]**を押すと時刻が設定されます。

- 日形式: [年年/月月/日日]、[月月/日日/年年] あるいは [日日/月月/年年] の何れかを選びます。
- 月形式: **[**タイプ１**]**あるいは**[**タイプ２**]**を選びます。

- 夏時間 [ON/OFF:] 夏時間を採用するか選びます。
    - DST 開始: **[ON]**にすると、夏時間開始の日時を設定します。
    - DST 終了: **[ON]**にすると、夏時間終了の日時を設定します。

4.10.4 その他（ETC）

その他の機能を設定します。

- 言語: メニュー画面の言語を選択できます。日本語、英語、韓国語、中国語、スペイン語を選択できます。

- 音声入力タイプ: **[**マイク**]**あるいは**[**ライン**]**入力を設定します。この設定は全てのチャンネルに適用されます。

- リモート ID: 同一箇所で複数の DVR を同時に使用するには、リモートコントロール ID を設定しなくてはなりません。リモートコントロール ID は１から１６まで設定できます。この数値を**[ALL]**に設定すると、リモートコントロールはリモートコントロール ID に関係なく使用できます。

⚠ 注 リモートコントロール **ID** の設定方法

- リモートコントロールの SET ボタンを押し、１から１６までの番号の一つを選びます。

- キーブザー[ON/OFF]: リモートコントロールあるいはキーボタン押すとき、キー音声が鳴るかどうか選択します。

● ファームウェアダウンロード: 本体のソフトウェア基本のファームウェア更新のため、ダウンロードロケーションを指定します。

⚠ 注 通常のユーザーは更新を実行できません。工場出荷専用です。

● 初期化設定: 本体の設定値を工場出荷時の初期設定に初期化します。
下記の画面で**[Yes]**を選ぶと、設定値は初期化されます。

4.11　メニュー終了

設定後、メニューを閉じるとき、ESC ボタンを押すと、下記のようなダイヤログボックスが現れます。**[**セーブ**]**を選ぶと、設定値はセーブされます。設定値をセーブするために約 10~20 秒かかります。お待ちください。

第 5 章

操作

5.1 操作開始前の予備チェック

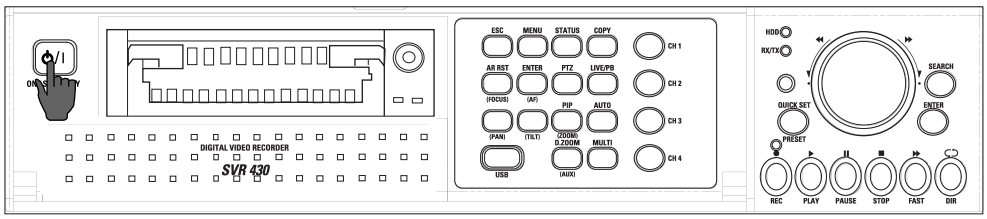
- 電源投入前に、電源電圧を調べてください。
- NTSC で使用していた DVR を PAL で使用すると、NTSC と認識するために初期事故が生じます。このときは、一度電源を OFF し、それから ON すると PAL を認識できます。

5.2 電源接続

- 付属品や電源ケーブルを接続後、本体前面の ON/STAND–BY ボタンを押します。
- 電源投入後、映像入力信号があることは自動的に認識されます。
- 急激な電源断でも全ての設定値は保存されます。
- 電源 ON/OFF のパスワードを必要とする場合は、正確なパスワードを入力します。パスワードなしでは、DVR を ON/OFF できません。(「4.9項パスワード」を参照ください。)

5.3 ライブ映像画面

電源投入後、ライブ映像画面、監視映像画面が表示されます。



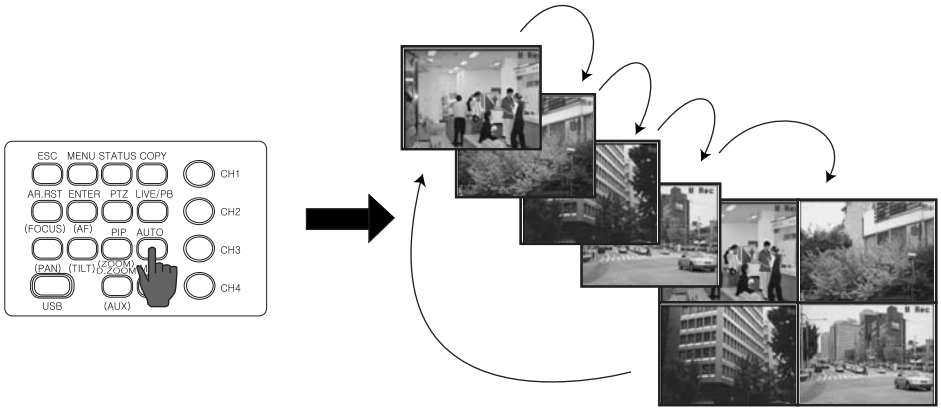
5.3.1　個々の１画面と４分割画面表示

CH1～CH4 を押すと、各チャンネルからの映像がフル画面で表示されます。

MULTI ボタンを押すと、４分割画面が表示されます。

5.3.2　オートシーケンス映像表示

AUTO ボタンを押すと、各チャンネル及び 4 分割映像が自動的に切換わり、メニューの**[**画面設定**]**-**[**シーケンス切換**]**内で設定した時間間隔で順次表示されます。



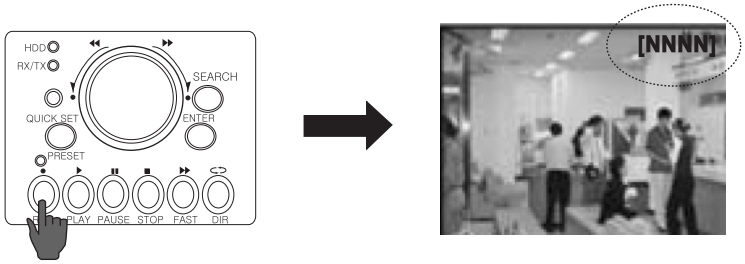
AUTO ボタンを再度押すとオートシーケンスは終了します。

注
- オートシーケンス表示モードでは他のボタンは機能しません。オートシーケンス表示モードを終了するためにAUTO ボタンを押すと他の機能が使用できます。
- イベント発生時、オートシーケンス表示モードは**[**表示**]**及び**[**イベント設定**]**の**[**イベント画面へ切換**]**が**[ON]**であれば、ポーズします。**[**イベント表示最大時間**]**後、オートシーケンス表示モードは再度機能します。

5.4 録画

5.4.1 通常録画

REC ボタンを押すと、録画を開始します。REC ボタンを再度押すと録画は停止します。



注 パスワードが設定されていると、[パスワード] 入力後、停止できます。

5.4.2 スケジュール録画

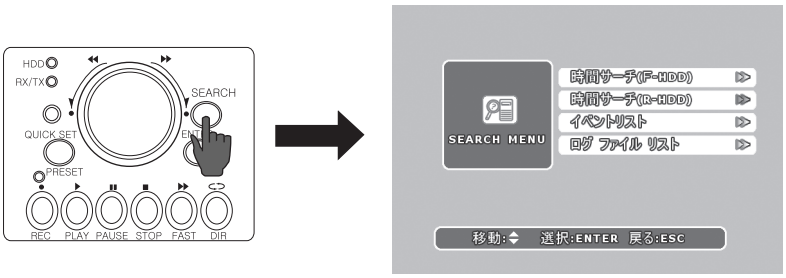
メニュー上の**[**録画設定**]**-**[**現在**]**-**[**録画モード**]**が**[**スケジュール**]**に設定されていると、録画はスケジュールに従い自動的に実行されます。

注 画面の録画状態表示（[NNNN]）は録画状態により異なります。もし、関連するチャンネルが録画されないと、[–] マークを示します。

- "N":通常録画
- "S":スケジュール録画
- "E":イベント録画（モーション検出、ビデオロス、センサー）

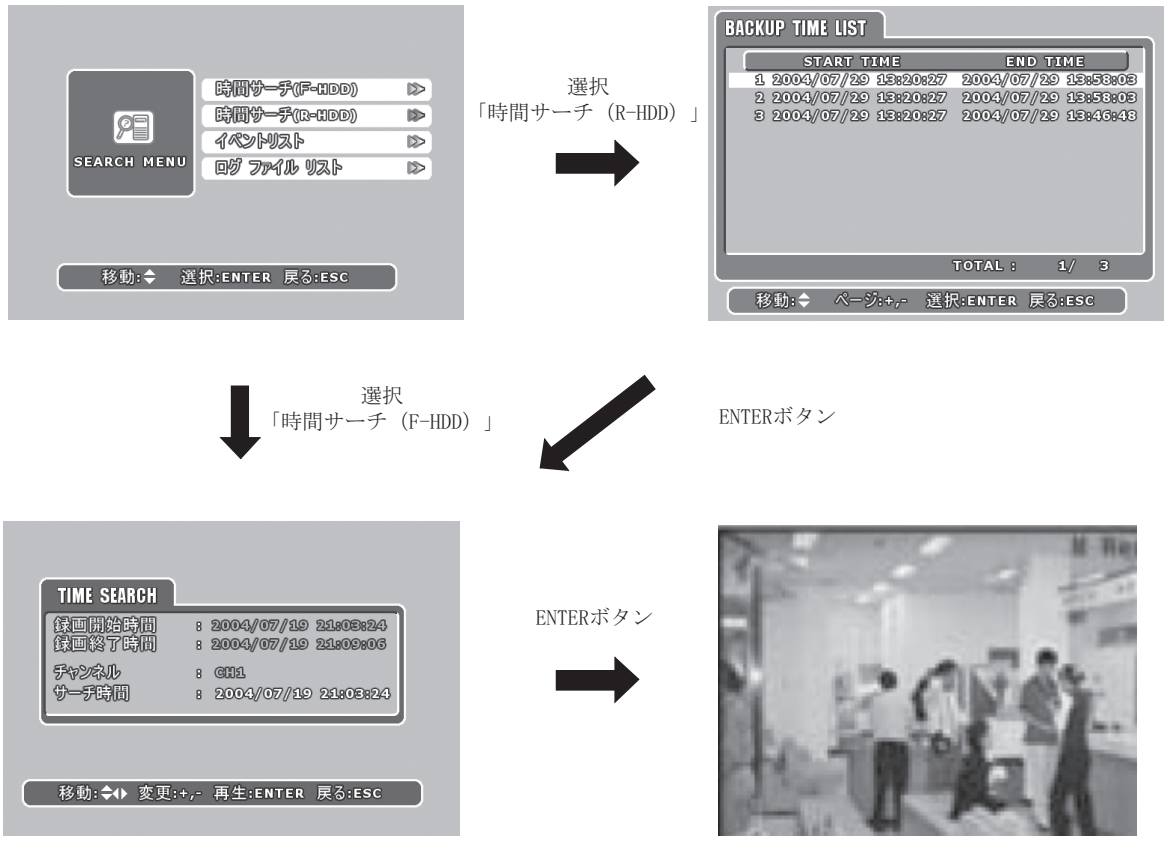
5.5　録画映像サーチ

SEARCH ボタンを押すと下図のようなサーチメニューが現れます。録画映像がサーチと時刻、イベントあるいは日で再生でき、ログファイルも表示します。



5.5.1　録画時間サーチ

SEARCH ボタンを押すと、画面が表示され、この画面で**[**録画時間サーチ**]**を選ぶと、内蔵 HDD 及び R-HDD にセーブされた録画映像をサーチ及び再生できます。　録画時間サーチの手順は下記の通りです。



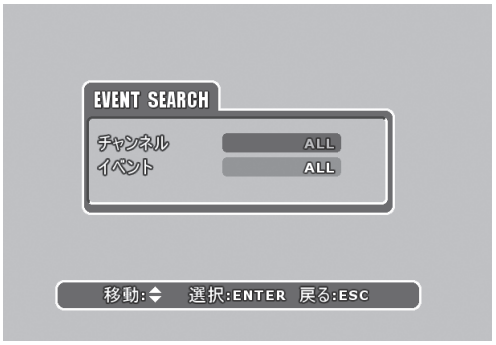
[時間サーチ **(F-HDD)]**を選ぶと**[**時間サーチ**]**画面が現れます。チャンネルや録画時間を選び ENTER を押すと録画映像を再生できます。**[**時間サーチ **(R-HDD)]**と**[**バックアップタイムリスト**]**の時間を選ぶと、**[**時間サーチ**]**画面が現れます。**[**時間サーチ**]**画面には自動的に**[**録画開始時間**]**及び**[**録画終了時間**]**が現れます。

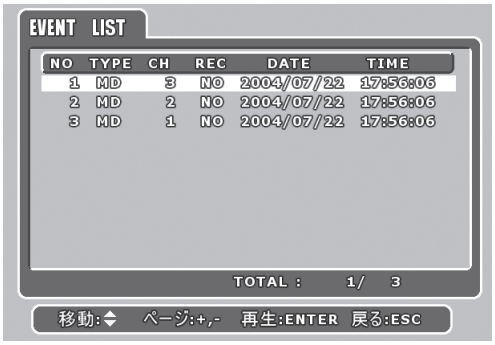
- 録画開始時間: 録画映像の開始時間

- 録画終了時間: 録画映像の終了時間
- チャンネル: CH1 ～ CH4 の内一つを選択できます。
- サーチ時間: 再生する時間を設定し[ENTER] ボタンを押すと、映像は選択された時間から再生します。

5.5.2 イベントサーチ

[SEARCH] ボタンを押すと下記の画面が表示されます。この画面から**[**イベントリスト**]**を選ぶと、サーチするイベント画面が現れます。そこで希望するイベントで選択、サーチあるいは再生できます。





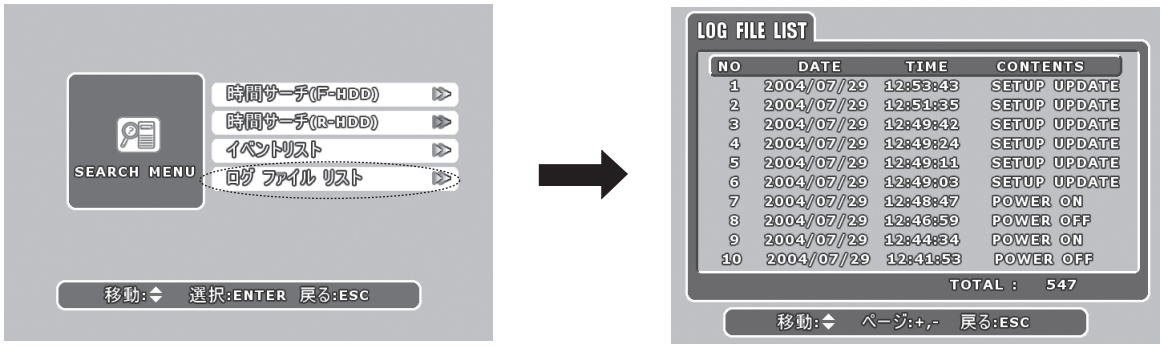
- チャンネル [CH1~4/ALL]:イベントをサーチするチャンネルを選択します。
- イベント [ALL/センサー/ビデオロス/MD]:サーチするイベントを選択します。

注
- 録画された項目の数が 1 画面の表示イベント数 (最大 10) を超える場合は、リモートコントローラーの[(+)] /[(–)] あるいは本体の▲ / ▼ を用いて次の頁に移動します。
- 録画映像データを選び、[ENTER] ボタンを押すと関連する映像が再生されます。
- [ESC] ボタンあるいは再生中イベントリストに戻るため[SEARCH] ボタンを押します

- イベントは最大 1000 数記憶されます。
- ALL:イベント発生時、録画映像をサーチし、リストにそれらを表示します。
- センサー:センサーイベント発生時、録画映像をサーチし、リストにそれらを表示します。
- ビデオロス:ビデオロスイベント発生時、録画映像をサーチし、リストにそれらを表示します。
- MD:モーション検出イベント発生時、録画映像をサーチし、リストにそれらを表示します。

5.5.3 ログファイルサーチ

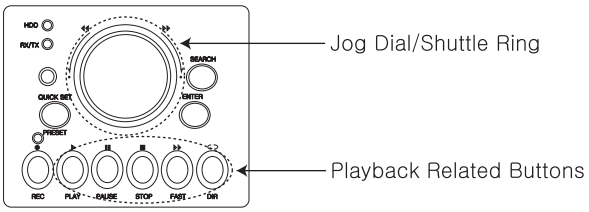
ログファイルをサーチして、ブーティング (起動中)、電源 ON/OFF 状態、時刻更新、温度情報（高温、低温）及びメニュー設定更新時間をチェックできます。



- **[**ログファイルリスト**]**はリストのみ表示し、再生はできません。
- リストから戻るには[ESC] ボタンを押します。

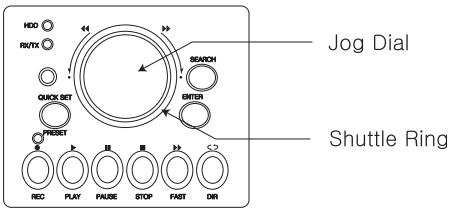
5.6 再生

下図に示す再生に関係するボタンを用いて、録画映像サーチからファイルを見ることができます。それぞれの再生に関係したボタンの機能を下図に示します。



- PLAY: ライブ画面で[PLAY] ボタンを押すと、その映像が前の再生時間から再生されます。
- PAUSE: 再生画面で[PAUSE] ボタンを押すと、再生画面はポーズします。[PLAY] ボタンを押すと再生が再開します。
- STOP: 再生画面で[STOP] ボタンを押すと、再生は停止します。
- FAST: 再生画面で[FAST] ボタンを押すと、映像は通常速度より早く (×2, ×4,×8, MAX) 再生されます。
- DIR: 再生画面で[DIR] ボタンを押すと、再生方向を正逆に変更できます。

5.6.1 ジョグダイアル/シャトルリング

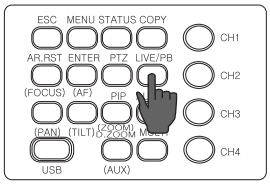


- シャトルリング: メニュー間の移動に使用し、録画映像の再生速度と逆あるいは正方向再生を調整します。

● ジョグダイアル: 各種メニューの設定に使用し、ポーズ状態でスチル画像をサーチします。

5.7 ライブ/再生画面切換え

再生中に LIVE/PB ボタンを押すと、画面はライブ映像画面に切換わります。LIVE/PB ボタンを再度押すと、画面は再生画面に切換わり、ポーズ状態になります。



ライブ画面

再生画面

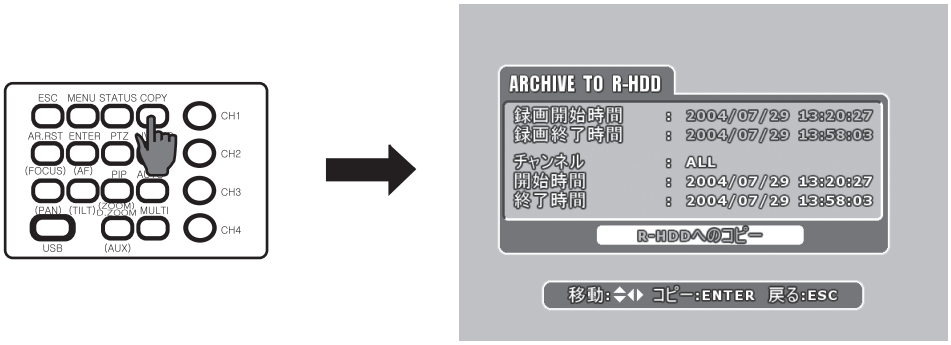
5.8 デジタルズーム

D.ZOOM ボタンを押すと、再生あるいはライブ画面で映像を２倍に拡大します。

- 拡大画面上で移動するため、上/下/左/右ボタンを用います。
- NTSC では 640×480,640×240で（PAL は 640×576,640×288で）D.ZOOM ボタンを押すと画面の上部画面が表示され、右に移動するにはジョグダイアルを右に回します。
- 320×240では (PAL は 320×288で) D.ZOOM ボタンを押すとフル画面が表示されます。
- D.ZOOM ボタンは再生あるいはポーズ画面で起動できます。
- ジョグダイアルを右に回すと、映像は拡大され、左に回すと縮小します。
- 終了で D.ZOOM ボタンを再度押します。

5.9 コピー

COPY ボタンを押すと HDD の内容を他の記録媒体へバックアップのためセーブできます。
利用できる記録媒体はR-HDD、CD-RW、USB外装CD-RW、USB MEMORY STICK等で、本体に接続された記録媒体は自動的に検出され、メニューに表示されます。



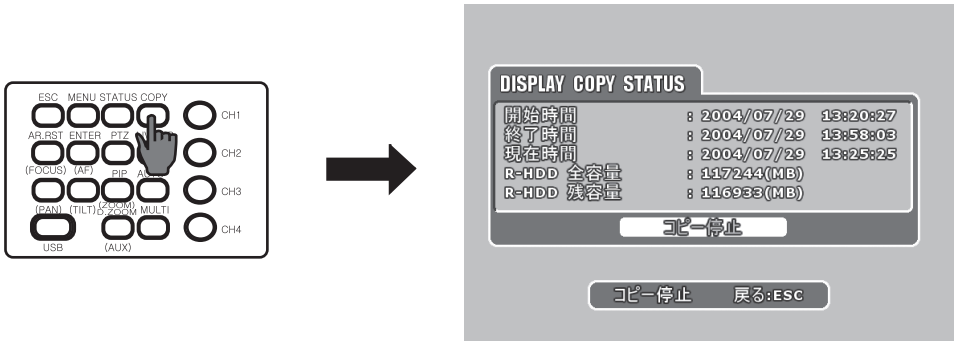
- CD-RWコピーにアーカイブ:このメニューを選択すると、下記のようなメニューで設定選択できます。
  (CD-RWでは、3つのメニュー、コピー、フォーマット及び取り出しが表示されます。内蔵CD-RWを使用してコピーする場合には、現在進行中の録画を中止してコピーをします。USB MEMORY STICKの場合には COPY TO USBとのメニューが出ます。)

⚠ 注

- CD-RWメディア: コピー前にフォーマットします。
- CD-Rメディア: フォーマット必要ありません。

- 録画開始時間:録画開始で自動的に時間を表示します。
- 録画終了時間:録画終了で自動的に時間を表示します。

– チャンネル (CH1 – ALL):セーブするために選択したチャンネル番号を表示します。
– 開始時間:コピー開始時間を入力。
– 終了時間:コピー終了時間の入力。
– コピー開始: [ENTER] ボタンを押すとコピーを開始します。



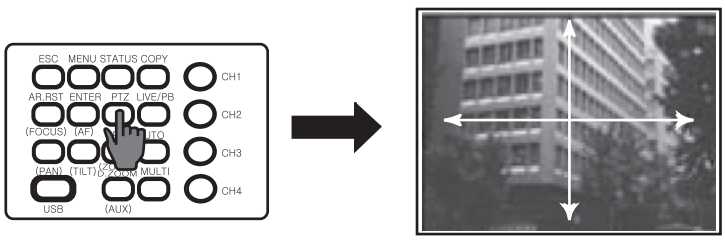
- コピー状態表示:コピー状態進行の表示。
  画面の左端上に コピー中メッセージが表示されたとき、COPY ボタンを押すと上図のような画面が表示されます。[コピー停止]のため [ENTER] ボタンを押します。次に、[ESC] ボタンを押すとメニューは閉じます。

⚠ 注 バックアップ媒体 R-HDD , CD-RW, USB MEMORY STICK) にセーブされたコンテンツは「5.5項 録画映像サーチ」で記述したサーチ後、再生ボタンを用いて再生できます。

- USB への静止画セーブ: USB へポーズした静止画像をセーブできます。
  – [SEARCH] ボタンあるいは [PLAY] ボタンで映像を再生できます。
  – セーブする映像で [PAUSE] ボタンを押します。
  – [COPY] ボタンを押すと静止画像が USB にセーブされます。

5.10 PTZ

選択されたフルライブ画面で [PTZ] ボタンを押し、カメラのパン/チルト/ズームを調整するか、プリセット値で画面を見ます。PTZ 機能は、本体前面の機能ボタンでのみ使用できます。リモーコントロールにはＰＴＺ機能に関するボタンはありません。



5.10.1 PTZ 調整

- パン調整には [PTZ] ボタンを押して、それから [(PAN)] ボタンを押し、ジョグダイアルあるいはシャトルリングでパンを調整します。

- チルト調整には[PTZ] ボタンを押して、それから[(TILT)] ボタンを押し、ジョグダイアルあるいはシャトルリングでチルトを調整します。
- ズーム調整には[PTZ] ボタンを押して、それから[(ZOOM)] ボタンを押し、ジョグダイアルあるいはシャトルリングでズームを調整します。

⚠ 注 ジョグダイアルは１のレートでのみ動きますが、シャトルリングは２×、４×、８×の速度で回転します。

- 調整後[AF] ボタンを押すと、フォーカスは自動的に調整されます。手動フォーカスには[(FOCUS)] ボタンを押します。そしてフォーカスのためジョグダイアル/シャトルリングを回転させます。
- PTZ モードを終了するには[PTZ] ボタンを押します。

5.10.2 プリセット

- フル画面モードを選ぶため、[CH1] からCH4の希望するチャンネルを押します。
- [PTZ] モードを選ぶために PTZ ボタンを押します。(PTZ mode は画面の右上端に表示されます。)
- [(PAN)] /[(TILT)] /[(ZOOM)] を押し、ジョグダイアル/シャトルリングで PTZ を調整します。
- [PRESET] ボタンを 2 回押します。(P-Set が画面の右上端に表示されます。)
- [CH1] から[CH4] の一つのチャンネルを押し、プリセットとして PTZ 値をセーブします。

⚠ 注 PTZ(P-Set) が画面の右上端に表示されるとき、[CH1 ～ CH4] はチャンネル番号でなく、設定するプリセット番号を示します。

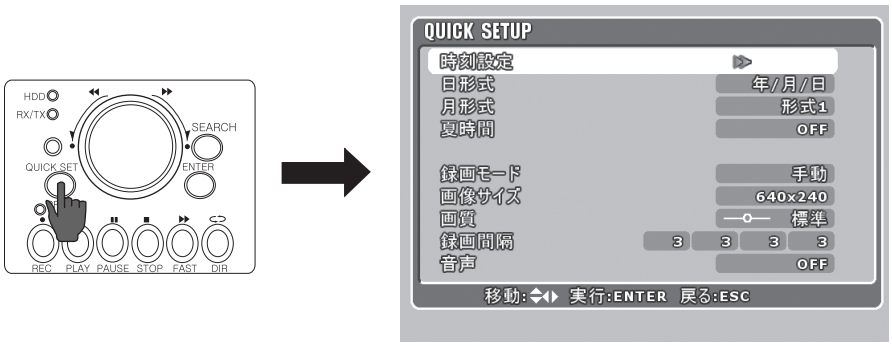
5.10.3 プリセットの利用

- フル画面モードを選択するために CH1 から CH4 の一つのチャンネルを押します。
- PTZ モードを選ぶために[PTZ] ボタンを押します。(PTZ mode は画面の右上端に表示されます。)
- 前面操作パネルの再生関連ボタン部にある[PRESET] ボタンを押すと、(PTZ(P-Move) が画面の右上端に表示されます。)
- CH1 から CH4 の希望するボタンを押すと、カメラはプリセット値で作動します。

⚠ 注 (PTZ(P-Move) が画面の右上端に表示されると、[CH1~CH4] を示す何れのチャンネルも該当チャンネルを示さないで設定するプリセット番号を示します。

5.11　クイック設定

クイック設定は頻繁に使用するメニューのグループです。素早く設定値を変更できます。



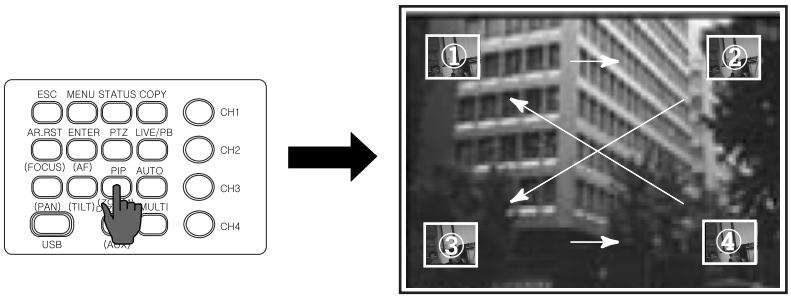
- 時間設定：システム時間の設定。
- 日形式：日形式の設定。
- 月形式：英語あるいは数字形式の選択。
- 夏時間：夏時間の設定。

- 録画モード：録画形式の選択
- 画像サイズ：録画映像の解像度設定。
- 画質設定：セーブする映像の圧縮レベル設定。
- 録画間隔：毎秒のフレームレート設定。
- 音声：映像とともに音声も録音するかの選択。

設定後[ESC] ボタンを押すと、メッセージが表示されます。**[**セーブ**]**を選ぶと設定値がセーブされます。

5.12　PIP

フル画面で[PIP] ボタンを押すと他の画面が表示されます。[ENTER] を連続に押すと、下図に示す小さい画面が移動します。



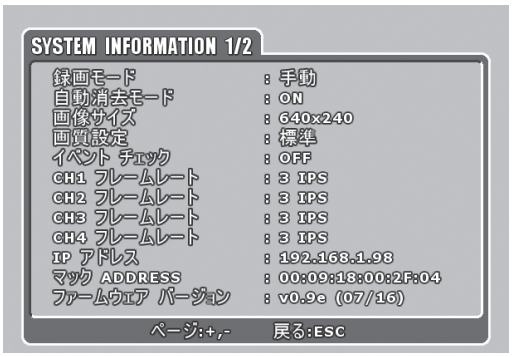
- ライブ画面中のライブ PIP

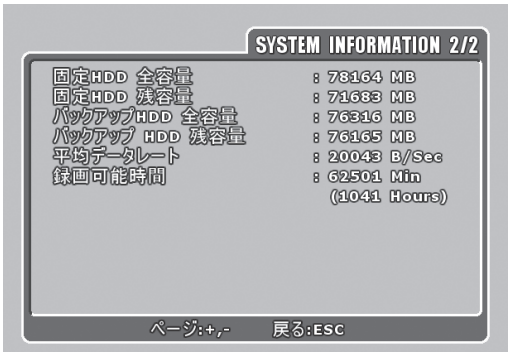
1. 一つのチャンネルを選び、[PIP] ボタンを押します。

2. PIP 画面中に表示されるチャンネルボタンを押します。
3. [ENTER] を押すと PIP 画面は移動します。[ENTER] を PIP 画面が希望する位置にくるまで連続して押します。
4. [PIP] ボタンを再度押すと、PIP モードは終了します。

5.13 システム情報

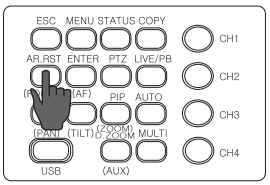
[STATUS] ボタンを押すと、下図に示すようにシステム情報が画面に表示されます。左（◀)/右（▶）及び[+] と[-] を関連情報をチェックするために押します。[ESC] ボタンを押すとシステム情報が画面は閉じます。





5.14 アラームリセット

イベントが発生すると、メニューの**[**イベント設定**]**で設定された画面にアラームがに示されます。
[AR.RST] ボタンを押すとアラームは解除されます。



第 6 章

ネッワークビューアプログラム

ネッワークビューアプログラムで、リモート PC 上で設定値を変更したり、ユニットを操作したりできます。本章では、このプログラムのインストールと操作を説明します。

⚠ 注　この説明は、読者は O/S 及びコンピュータの基本的知識を持っていることを前提にしています。

6.1 ネッワークビューアプログラム（Network Viewer Program）のインストール

6.1.1 システム要求仕様

- Pentium IV 1.2GHz　あるいは以上
- O/S：Microsoft Windows 2000/XP　あるいは以上
- RAM：256MB あるいは以上（512MB あるいは以上推薦）
- ビデオカード：Super VGA 16M あるいは以上
- LAN カード：10/100 base-T ネットワークカード

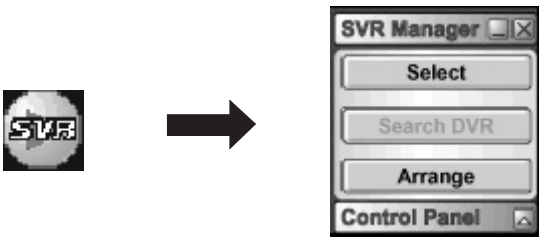
6.1.2 ネッワーク環境

等級	顧客の **PC**	**DVR**
Min.	1Mbps あるいは以上	0.5Mbps あるいは以上
推薦 (16F/秒)	2Mbps あるいは以上	2Mbps あるいは以上

⚠ 注
- 映像の伝送レートは本体に接続される顧客の PC の数に左右されます。
- ネッワークビューアプログラムは Microsoft Windows 2000/XP と両立します。

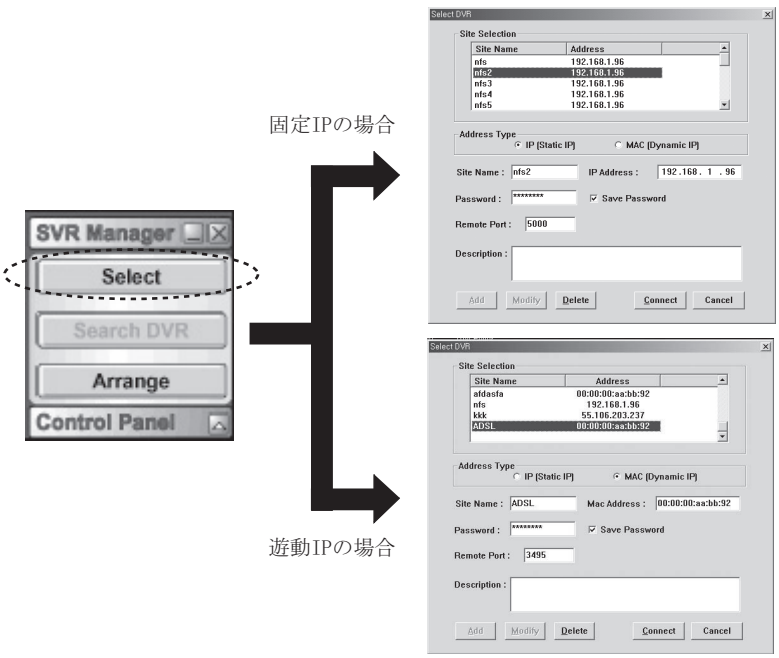
6.1.3 プログラムのインストール

1. Windows2000 あるいは Windows XP をインストールしてある PC の電源を ON します。
2. 本体に付属する CD-ROM ドライブの専用プログラムをインストールします。
3. Setup.exe ファイルをダブルクリックすると自動的に圧縮ファイルを実行し、希望するディレクトリに解凍します。
4. mfc42.dll, SvrManager.exe,DllWrsFtpCtrl.dll が希望するディレクトリに解凍されます。
5. SvrManager.exe ファイルをダブルクリックしプログラムをスタートします。
6. 下図の画面が表示されます。



6.2 Select：ユニットへのアクセス

ネッワークビューアプログラムは４つまでの遠隔地に設置されたユニットの設定及び操作ができます。この目的には、ネッワークビューアプログラムを PC に設定する必要があります。Select ボタンをクリックすると下図画面が現れます。この画面にインスト-ルされた遠隔地で情報を付加、変更あるいは削除できます。



- アドレスタイプ: 固定 IP あるいはダイナミック IP を選択でき、ダイナミック IP では、IP アドレス入力ウインドウは Mac アドレス入力ウインドウに変更できます。

- Add Remote Site Information: サイト名、IP　アドレス (固定 IP) あるいは Mac アドレス (ダイナミック IP)、Password、Remote Port 及び Description を入力し、ADD ボタンを押します。

- Delete Remote Site Information: リストからサイト名を削除するため、DELETE ボタンをクリックします。

- Change Remote Site Information: IP アドレス、パスワード等の情報を変更するため、MODIFY ボタンを押します。

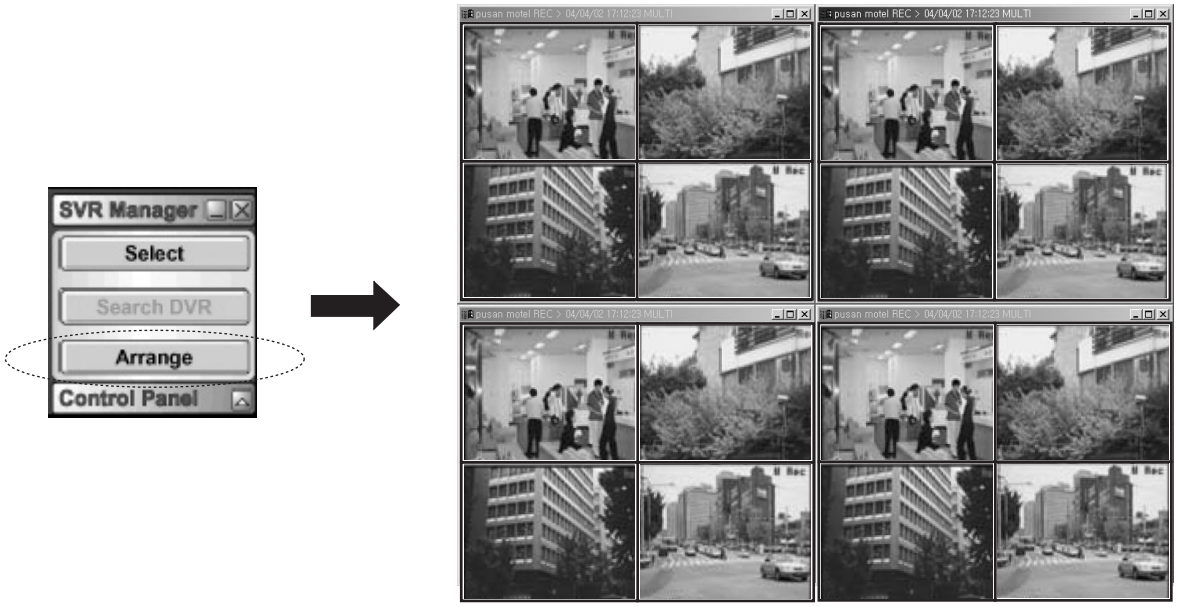
- Remote Site Unit へのアクセス: リストからアクセスするためのサイト名を選び、サイト名をダブルクリックするか CONNECT ボタンをクリックすると、ユニットは接続され、該当ユニットのリアル画面あるいは再生画面が表示されます。

- Menu から Exit: Cancel ボタンを押します。

- PASSWORD: DVR 本体の ADMIN パスワード及びユーザーパスワードは合致しなければなりません。（57 頁を参照）

6.3 Arrange:画像配列

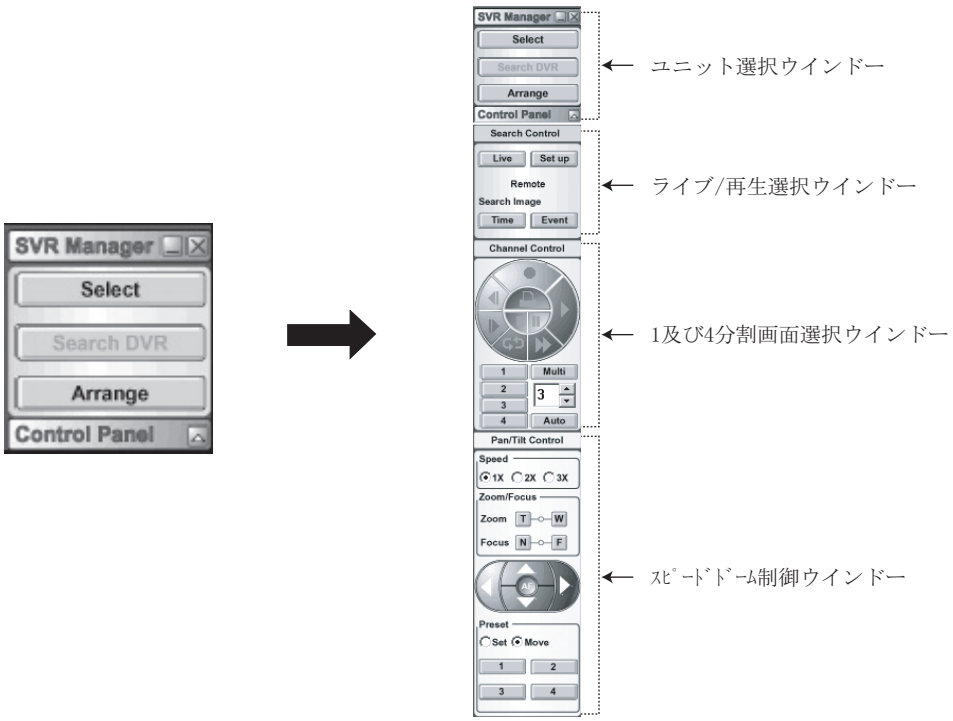
数台のユニットにアクセスし、複数のウインドーが表示される場合、Arrange ボタンを押すとウインドーが配列されます。



- 配列された画面の中で希望する画面をクリックするとその画面は、フル画面になります。

6.4 コントロールパネル

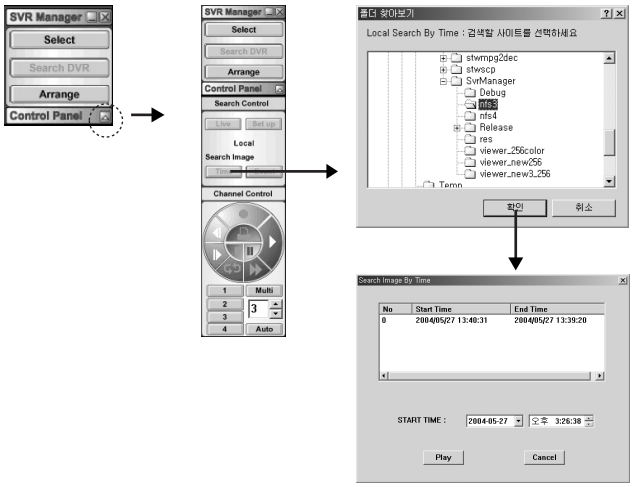
6.2項で記述したように遠隔地のユニットにアクセスし接続した場合、サーチ用の Control Panel、Channel、Pan、及び Tilt Control が自動的に下図のように表示されます。



SVR Manager パネルの**[Control Panel]**ボタンを押すと、LIVE/PLAY BACK 選択ウインドー上の**[Remote]**は**[Local]**とマークされます。Local 状態では、SPEED DOOM Control ウインドーは表示されません。

⚠ 注

- Local PC Playback ウインドーは一箇所のサイトだけで再生できます。
- Local PC Playback ウインドーと Remote Playback ウインドーが同時に表示されると、Local PC Playback ウインドーは制御できません。



6.4.1 Search Control

サーチコントロールは遠隔地の**[Remote]**と顧客 PC の**[Local]**の 2 つに分けられます。

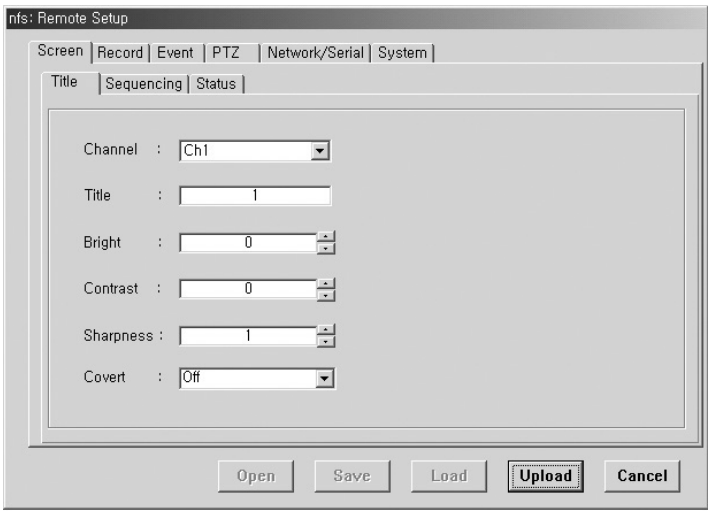
- リモートサイトが Select あるいは Search ボタンで接続されていない場合、リモートサイトは**[Local]**と表示されます。接続されれば、**[Remote]**と表示されます。
- **[Local]**が選択されると Live 、Set up 及び Event は起動しません。

Live：ライブを見る

再生中にライブ映像を見たい場合クリックします。

Set up:設定

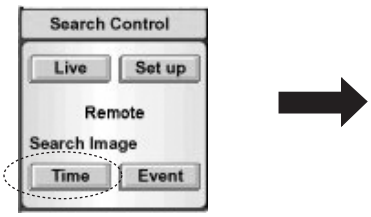
設定はメニューボタンで行います。Admin ユーザーが Remote Site をアクセスする場合このボタンをクリックすると、画面 Screen、録画 Record、イベント Event、PTZ、ネットワーク＆シリアル NetworkSerial 及びシステム System 設定のウインドーが下図のよう表示されます。「4章の設定方法」の設定手順を参照ください。

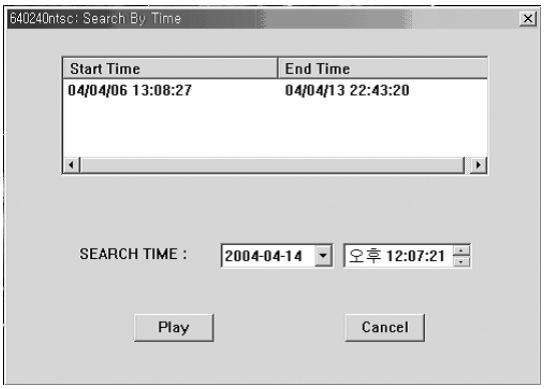


サーチ画像 **Search Image**

時刻あるいはイベントによる録画映像のサーチ

- Time ： リモート状態でこのボタンをクリックすると、下図のようなウインドーが現れます。希望する日及び時刻を設定し、Play ボタンをクリックすると、該当する映像を再生できます。ローカル状態では、Time をクリックすると Search Folder ウインドーが現れますからフォルダーを選び、OK を押すと Search Image By Time と呼ばれるウインドーが現れます。

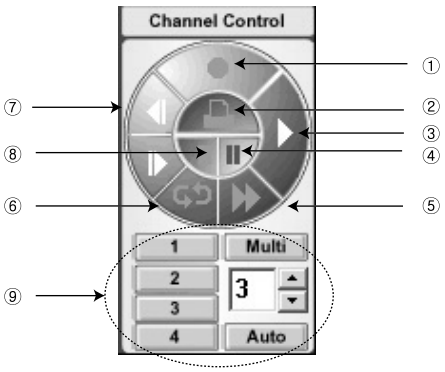




- Event ： このボタンをクリックすると、下図のようなウインドーが現れ、イベントによる録画映像のサーチ及び再生ができます。希望するイベントをチェックし Search ボタンを押すと、サーチするイベトが表示され、再生するため Play ボタンを押します。

6.4.2 Channel Control

Channel Control メニューにより遠隔地で各チャンネルのライブ/再生画面を制御することができます。**[Channel Control]**メニューを使用するには、遠隔地及び顧客 PC の接続は不要です。



① 録画ボタン: Local PC 内で、リモートサイトから送られてくるライブあるいは再生映像をセーブするには、このボタンを押します。Network Viewer Program がインストールされているディレクトリ内のアクセスサイトの名がついたファイルにセーブされます。Local PC 内でセーブを停止するにはこのボタンを再度押します。

② プリントボタン:ポーズ画面をプリントするにはこのボタンをクリックします。プリントボタンをクリックするとプレビューウインドーが表示されます。プレビューウインドーには、その下部に関連情報を入力する Text Field があります。

③ 再生ボタン：録画された画面を再生します。

④ ポーズボタン：再生映像をポーズします。

⑤ 早送り再生ボタン：通常速度より早く録画映像を再生します。

⑥ 再生方向変更ボタン：録画映像の再生方向を正あるいは逆を選択します。

⑦ 前後映像ボタン：クリックするとポーズ画面で前後の画面を選べます。

⑧ 停止ボタン：クリックで再生を中止し、ライブ画面に変更します。

⚠ 注
- プリントボタンはフル画面が選択されている場合のみ機能します。ポーズボタンをクリックします。
- 再生、早送り再生、ポーズ及びプリントボタンは、ライブ映像画面では機能しません。

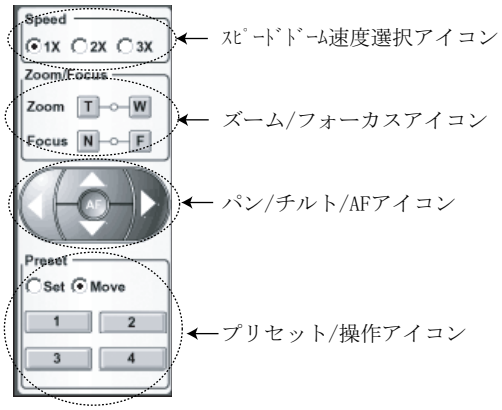
⑨ チャンネルボタンの選択

- 各チャンネルの再生あるいはライブ映像を見るには、[1] ,[2] ,[3] ,[4] ボタンの中から希望するチャンネル番号をクリックします。
- [Multi] ボタンをクリックすると、４分割画面になります。
- 切換時間間隔 (1–99 秒) を Text Field で入力し、[AUTO] ボタンを押すと、画面は自動的に設定された切換時間間隔で切換わります。

⚠ 注 4 分割画面からフル画面に切換えるには該当画面をダブルクリックします。

6.4.3 Pan/Tilt 制御

カメラのパン/チルトを調整するために下図のように、**[Pan/Tilt Control]**メニューで Pan/Tilt を設定します。



- Speed:パン/チルトの回転速度で 3 倍まで調整できます。
- Zoom/Focus:フル画面に対してズームの In/Out とフォーカスを調整します。
  - Zoom:ズーム Out/In には[T] あるいは[W] をクリックします。
  - Focus: [N] あるいは[F] で調整します。

- ポジション調整ボタン
  - 矢印キー：上/下及び左/右ボタンで調整します。
  - AF(オートフォーカス) ボタン：カメラポジションをズーム及び上/下及び左/右ボタンで調整した後、AF ボタンを押します。

- Preset: 4 ポジションまでプリセットできます。
  - Set: **[Set]**を選び、ポジション調整ボタンで希望するポジションにカメラを移動し、下部の番号をセーブするためにクリックすると、選択した番号に対応してカメラポジションがプリセットされます。
  - Move:プリセットポジションに行くには[Move] を選び、プリセット番号をクリックするとカメラは該当ポジションに向かいます。

第 7 章

SVR-430 CD-Backup VIEWER

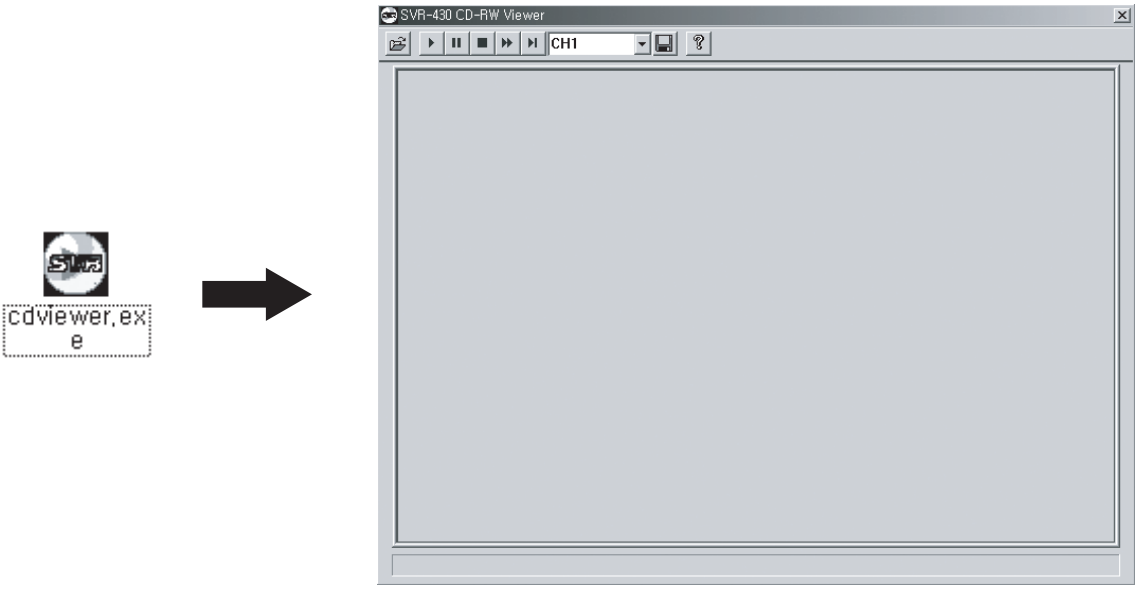
SVR-430 CDバックアップ・ビューアは、SVR-430内蔵の CD Writer/Rewriteで CD-RWあるいは CD-R にコピーされた映像を再生し、MPEG-2フォーマットでファイルにセーブします。USB MEMORY STICK にセーブされた映像もこのプログラムで再生できます。
本章は、インストール法と CD-Backup Viewerプログラムの使用法を説明します。

7.1 CD-Backup Viewerプログラムのインストール

7.1.1 システム仕様

- CPU：Pentium III 500MHz あるいは以上
- メモリー：256MBあるいは以上（512MBあるいは以上推薦）
- HDD：400MBあるいは以上
- O/S：Windows 2000 あるいは以降
- CODEC：MPEG-2 CODEC

7.1.2 プログラムスタート

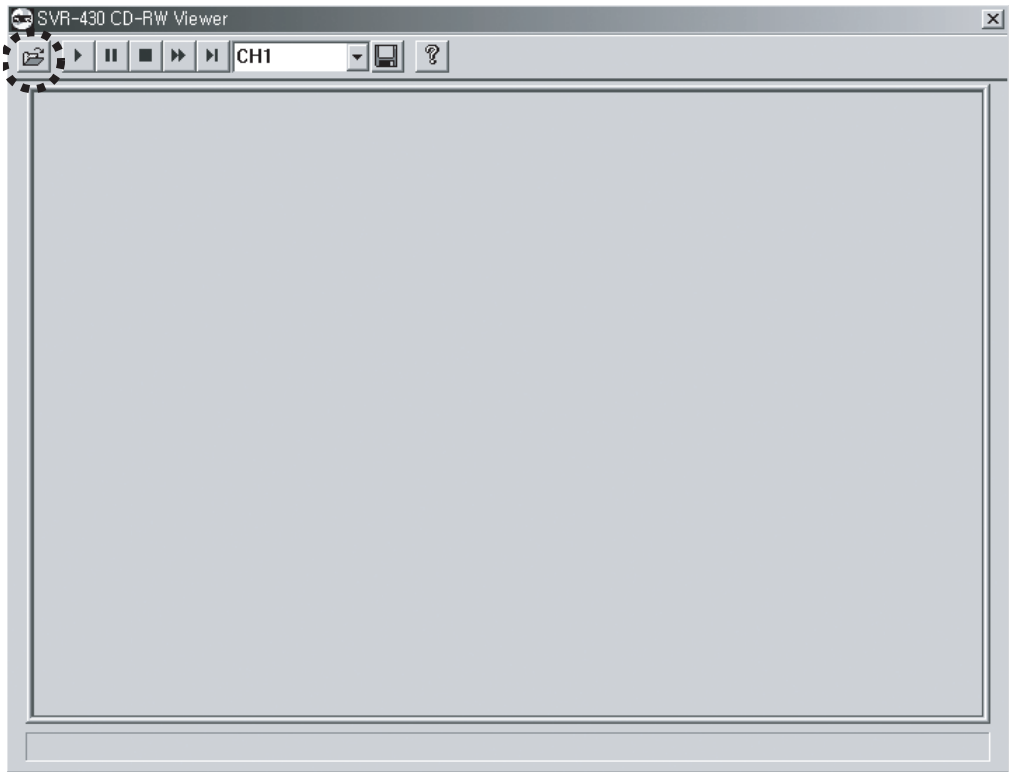


7.2 アイコンの機能

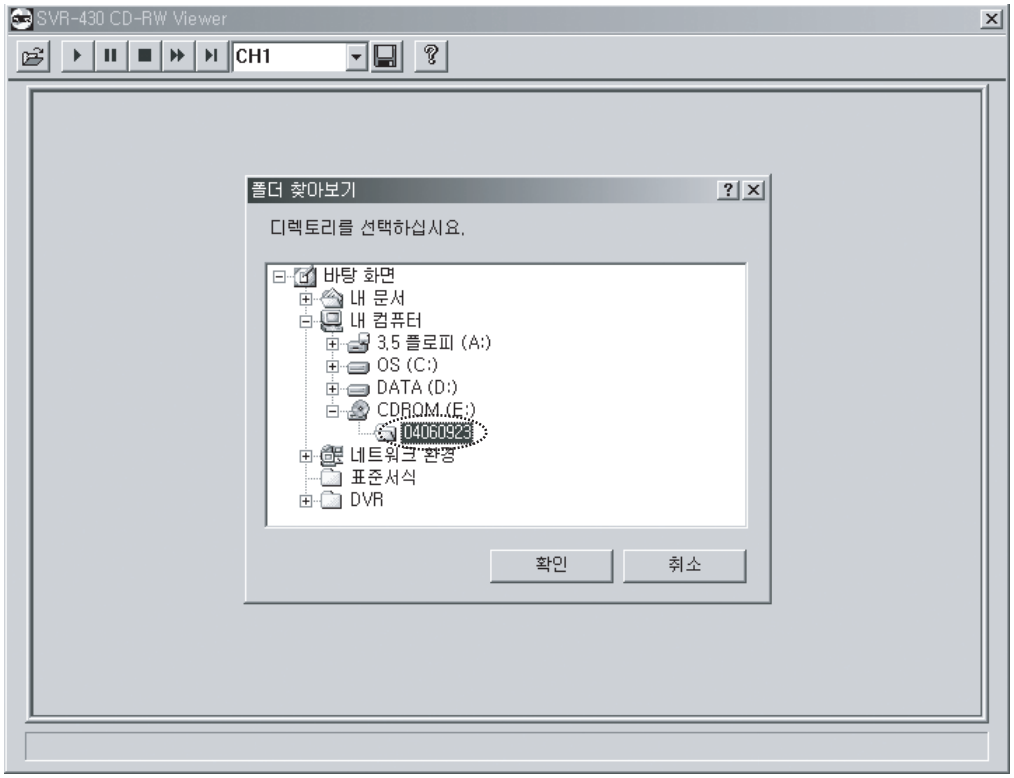
1. セーブした映像のロケーションとして explorer ウインドーを選びます。
2. チャンネルにより選択した映像の再生。
3. 再生映像のポーズ。PLA アイコンを再度押すと、ポーズ映像は解除されます。
4. 再生映像の停止でチャンネルにセーブされた最初の映像に戻ります。
5. 再生映像の速度を速めます。(2×, 4×, 8×)
6. セーブした映像を押す毎に、一こま送ります。
7. チャンネルの再生映像をセーブします。セーブされたファイルはgeneral media player 再生できます。しかし、これらの media playerは MPEG-2(InterVideo MoonLight等）のような CODEC(再生ソフト) を必要とします。

7.3 再生

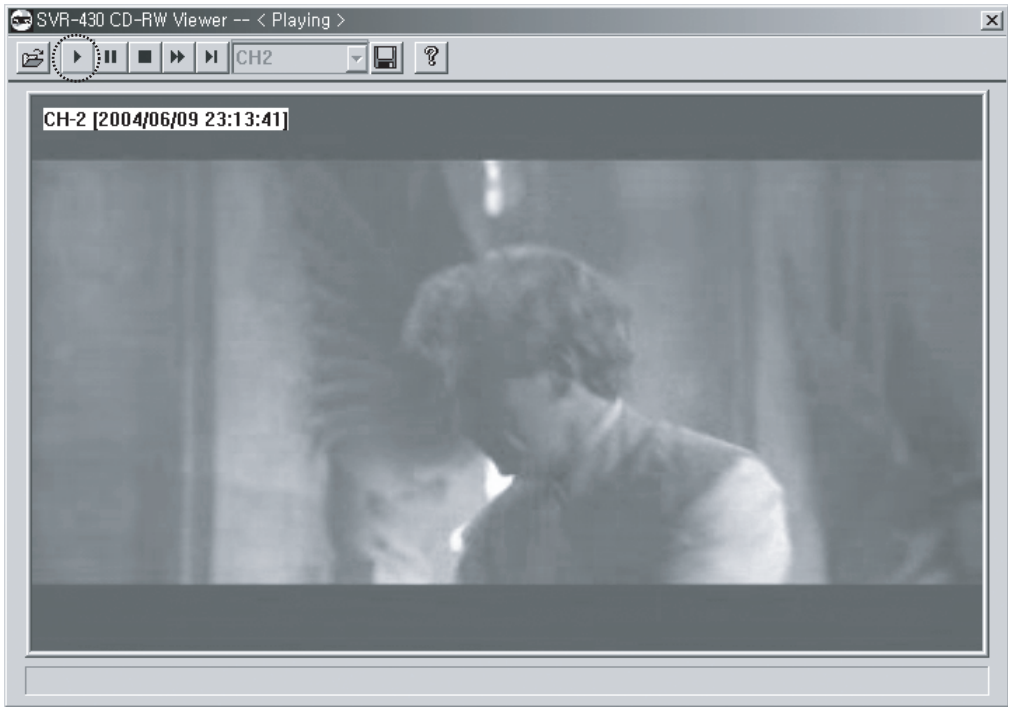
1. PCにCD-RW、CD-R、あるいはUSB MEMORY STICKを装填し、Openアイコンをクリックします。



2. 映像がセーブされているフォルダーあるいは explorer ウインドーの CD-ROM を選び、OK ボタンをクリックします。

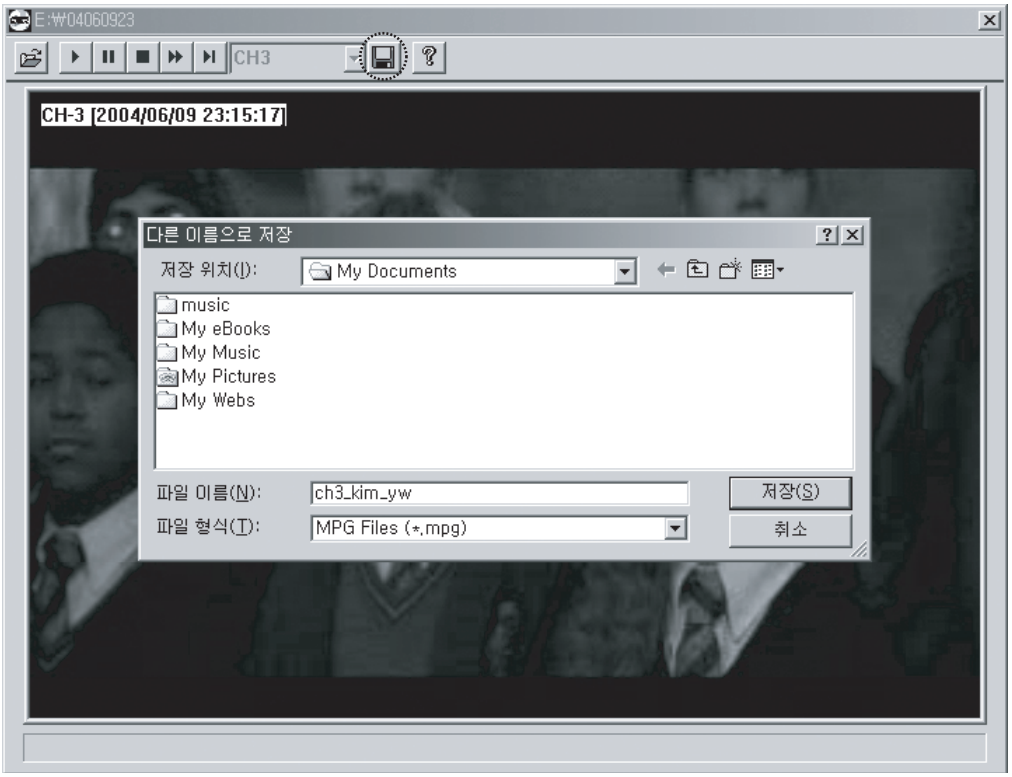


3. チャンネルを選び、PLAY をクリックします。



7.4 セーブ

1. Save アイコンをクリックし、explorer ウインドーを終了します。そして適当なファイル名を入れ、SAVE ボタンを押します。



2. MPEG-2 CODEC で PC にセーブされた画像のファイルをクリックすると、その映像はメディアの一つとして下記のように再生されます。

第 8 章

トラブルシューティング

SVR-430 は非常に精巧な機器のため故障もあり得ます。故障に際しては下記の手順に従ってください。

電源ボタンを押しても、電源が入らない。

- 電源ケーブルが適切に接続さているか調べる。

電源投入後、映像がモニターに現れない。

- モニターへの映像ケーブルの接続を調べる。
- カメラからの映像ケーブルの接続を調べる。
- モニターの輝度調整が適切か調べる。

録画映像に音声がない。

- メニューの**[**録画設定**]**の**[**「音声**]**が**[OFF]**でないか調べる。
- モニターの音量調整を調べる。

リモートコントロールが機能しない。

- バッテリーを調べる。
- リモートコントロールを DVR ユニットの赤外線受信部に直接向けて操作してみる。
- ユニットの ID とリモートコントロールの ID が一致していない場合、両方の機器に同一の ID を設定する。

HDD に録画できない。

- HDD の寿命が切れて録画できない、あるいは HDD 内のセクター不良。この場合、HDD を交換する。（次頁のエラーメッセージの記述を参照。）

ブザーが鳴り、システム温度メッセージが表示される。

- 機器内の冷却ファンをチェック。ファンが動作していない場合は結線の接続を調べる。不良であればファンを交換する。

スケジュール録画不良。

- スケジュール録画の開始/終了時間及び現在時間が正確か調べる。

モニター画面が不明瞭。

- カメラのフォーカスを調べる。

エラーメッセージの記述

- HDD の寿命が切れて録画できない、あるいは HDD 内のセクター不良。この場合、下記のエラーメッセージが表示されます。

  1. 内蔵 HDD のエラーメッセージ
     - MASTER HDD READ ERROR
     - MASTER HDD WRITE ERROR
  2. R-HDD のエラーメッセージ
     - SLAVE HDD READ ERROR
     - SLAVE HDD WRITE ERROR
  3. 起動中に HDD のエラーを検出したときのエラーメッセージ
     - HDD ERROR during BOOTING CHECK

  この場合、ユニットは録画できません。HDD を取替えます。

- DVR の内部温度に関連するエラーメッセージは下記と通り。

  - System temperature too High

  この場合、電源を切り、室温まで温度を下げ、それから再スタートします。

  - System temperature too Low

  この場合、電源を切り、室温まで温度を下げ、それから再スタートします。

誤作動メッセジーについての説明

- スケジュール録画中[REC] ボタンを押すと“ NOW SCHEDULE RECORDING ”
  - [REC] ボタンはスケジュール録画中は機能しません。
- イベント録画中[REC] ボタンを押すと“ NOW EVENT RECORDING ”
  - [REC] ボタンはイベント録画中は機能しません。
- CD-RW コピー中[REC] ボタンを押すと“ NOW CD-RW RECORDING ”
  - [REC] ボタンは、CD-RW コピー録画中は機能しません。も機能します。
- CD-RW を装填して、録画中に[COPY] ボタンを押すと“ PLEASE REC OFF ”
  - 録画中は CD-RW へのコピーはできません。
- CD-RW UMOUNT 中に[COPY] ボタンを押すと“ NOW CD-RW UMOUNT ”
- PIP で[PLAY] ボタンと[MENU] ボタンを押すと“ NOW PIP IS ON ”
  - PIP 機能が作動していると、[PLAY] と [MENU] ボタンは機能しません。

- COPY ボタンを押したときバックアップ機器（R-HDD、CD-RW、USB）がなければ“ NO BACKUP DEVICE ”
    - ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ機器がなければ、Copy 機能は作動しません。
- D-ZOOM 中にQUICK SETUP 及びPLAY ボタンを押すと“ NOW D-ZOOM IS ON ”
    - D-ZOOM が機能しているとき、QUICK SETUP 及びPLAY ボタンは作動しません。
- AUTO SEQWUENCE 中PLAY ボタンを押すと“ NOW AUTO SEQUENCING ”
    - 画面切換え機能が作動しているとき、PLAY ボタンは作動しません。

上記のようなメッセージが表示されたら、取扱説明書の該当項の説明を参照ください。

下記の問題を生じた場合は、販売店にご相談ください。

下記の問題を生じた場合は、即座に使用を中止して、電源ケーブルを抜き、販売店にご相談ください。

- 使用中に異常を見つけた場合（例えば、異臭、異状音、煙等）
- 電源ケーブルのコネクター破損。
- 機器を雨や水にさらした場合。
- ユニットに液体をかけたり、異物を挿入した場合。
- 本取扱説明書に記載されたように作動しない場合。
- ユニット落としたり、破損した場合。
- 概観が著しく変化した場合。